

世界の国を知る 🌐 世界の国から学ぶ

# わたしたちの地球と未来

🇫🇷 フランス共和国 🇫🇷



【表紙写真】

**ブルゴーニュのワイン街道と  
「栄光の3日間」で着飾った女性**

ブルゴーニュ地方は、シャブリ、ニュイ・サン・ジョルジュ、ロマネ・コンティなど、世界的に有名なブドウ山地が集まる地方です。写真は、サントナーからグラン・クリュへのワイン街道です。

また、ブルゴーニュのボーンは、ワイン取引の中心地です。毎年11月第3週末に3日間行われる「栄光の3日間」というお祭りでは、世界各地からワインの買い付け業者が集まります。

 フランス政府観光局ウェブサイト

# Contents

**01** こんな想いを込めました!

**02** こんな教材です!

**03** こんな風に使えます!

**05** なぜフランス共和国?

## 第1章 フランスってどんな国?

= パリだけじゃないっ! さまざまな「フランス」=

**07** クイズ100人に聞きました!

**09** パリとセーヌ河の物語

**13** 「フランスを旅しちゃおうマップ」を作ろう!

**17** フランスの学校...ウソ? ホント?

**19** ちょっとブレイク

## 第2章 へえ~! フランスと日本

**21** 日本とフランスの交流にまつわるウソ? ホント?

**23** 大人気! 日本のMANGA

## 第3章 一緒に考えよう! こんな課題

**27** 食べ物だって無限じゃない!

**29** 「ゆっくり」を楽しもう!

~ 自転車で自分たちの街再発見 ~

**31** 多様な人種が集まる国フランス

## 第4章 そして未来へ

**35** もしも外国とのつながりがなくなったら

**36** 未来の地球

### 参考資料

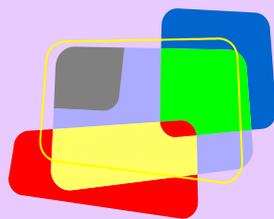
**39** 目で見るフランス

**41** フランス地図

**43** 参考文献・データ等の出典

**43** ご協力いただいた方たち

**43** 執筆・教材作成チームメンバー



# こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！  
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



## 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

## 人の顔が見える教材をつくりたい！

「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

## 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさんの問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

## 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起こっていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起こっていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



# こんな教材です！

次のようなことを考えてつくりました。

## ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

## 参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけではなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4~6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

## きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、フランスのほんの一面です。本書だけでフランスのすべてがわかるわけではありません。フランスに親しみを感じ、関心を持ってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

## 使い方は自由です

とほいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。P.3~4に掲載した使い方の例を参考に、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

## カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

## 本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2~4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。タイトルの横にそれぞれのプログラムの「ねらい」が掲載されていますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



|   |                                      |  |                                   |
|---|--------------------------------------|--|-----------------------------------|
|  | 参加型のプログラムです。<br>必要に応じてコピーし、配布してください。 |  | プログラムで模造紙を使います。                   |
|  | プログラムに関する説明です。<br>ファシリテーター・先生用です。    |  | プログラムでマジックを使います。                  |
|  | プログラムのねらいです。                         |  | プログラムで付箋を使います。                    |
|  | ちょっとブレイク! 一口コラムです。                   |  | プログラムでA4用紙を使います。<br>裏紙等を活用してください。 |
|  | プログラムに使う資料です。<br>必要に応じてコピーし配布してください。 |  | データ等の出典です。                        |
|  | コピーし、カード等に切り離して<br>使ってください。          |  | 写真の撮影者です。                         |

# こんな風に使えます！

例えば、こんな使い方はいかがですか？

## 第1章 フランスってどんな国？ = パリだけじゃないっ！さまざまな「フランス」 =

### ● P.7 クイズ100人に聞きました！

フランスを学ぶ学習の導入として使えます。正しい答えはなかなか出てこないと思いますが、正しい答えを求めることがねらいではありません。わたしたちは、1つの国を国全体のデータや象徴的なものだけで捉えがちです。それも大事なことですが、それ以外のことは意外と知らないということに気づいて、「フランスっていったいどんな国だろう」と興味を持ってもらい、次の作業につなげるとよいでしょう。

①の地図は、日本が中心にありません。普段日本で使われている世界地図は、日本が中心になっているものが多いのですが、「極東の国」といわれるように、ほかの国では日本が右端になっている地図が多く使われています。これをきっかけに、世界で使われている様々な地図を調べてみてもおもしろいでしょう。

### ● P.9 パリとセーヌ河の物語

P.10の地図を見ながらクイズをしてください。フランスに関しては情報がたくさんあるので、名前を聞いたことのある建物はたくさんあると思います。あるいは歴史で習った人物などもいるでしょう。そうした知識として知っている情報をより「今のフランス」に結びつけて、フランスを身近に感じることを目的としたプログラムです。P.11～12の説明文は長いので、子どもたちに読ませるよりは、写真を見ながら口頭で説明をした方がいいと思います。あるいは、グループごとに担当を決め、クイズの内容について詳しく調べてきてもらってもいいかもしれません。

### ● P.13 「フランスを旅しちゃおうマップ」を作ろう

フランスの多様な地方についてざっくりと把握するためのプログラムです。これも、このプログラムの後に調べ学習と組み合わせることができます。各地方の料理についてもっと詳しく調べ、実際にみんなで作ってみてもおもしろいですし、ここに挙げている以外の地方について調べてもいいでしょう。あるいは、旅行プランをみんなで作ってもおもしろいかもしれません。中学生・高校生が対象なら、今まで自分たちが持っていたフランスに対するイメージとの違いなどについて話し合い、自分たちが持っている情報がいかに限定されたものなのかについて言及してみてもいいかもしれません。

### ● P.17 フランスの学校...ウソ？ホント？

カードをバラバラに切り離してグループで「ウソ」と「ホント」に分ける作業を行います。場合によっては、裏紙などで「ウソ」カードと「ホント」カードを作り、個人またはグループで掲げてもらっても楽しいかもしれません。また、調べ学習などと組み合わせ、参加者にクイズを作ってもらい、お互いにクイズを出し合うのもおもしろいでしょう。

## 第2章 へえ～！フランスと日本

### ● P.21 日本とフランスの交流にまつわるウソ？ホント？

このクイズもP.17「フランスの学校...ウソ？ホント？」と同じような使い方できます。

### ● P.23 大人気！日本のMANGA

マンガを導入にして、世界に誇れる日本文化について考えるプログラムです。20のマンガタイトルが載っていますがクイズは半分にして、あとは「フランスだったらこんなタイトルかも...」というのをみんなで考えてもいいかもしれません。ただ、マンガのタイトルに関してはあくまで導入です。このプログラムに関しては④にできるだけ時間をかけた方がいいでしょう。自分たちが紹介したいと思う日本文化について、グループでプレゼンテーションしてもいいかもしれません。新聞記事に関しては、対象が小学生の場合読むのは少し難しいかもしれません。

### P.27 食べ物だって無限じゃない！

フランスはパリのイメージが強いですが、農業王国でもあります。一方、日本にとって食料問題は大きな問題です。解決に向けて取り組んでいかなければいけない地球の課題はたくさんありますが、食べ物はとても身近でわかりやすい課題ではないでしょうか？ このプログラムをきっかけに他の食べ物、他の国の食料自給率、ひいては食べ物を十分に手に入れることができない人々が世界にはたくさんいるという現実について考えてみるといいでしょう。また、「食べ残し」の問題からごみ問題などに発展させることもできます。

### P.29 「ゆっくり」を楽しもう！～自転車で自分たちの街再発見～

このプログラムもいろいろなねらいで活用することができます。環境問題に重点をおいてもいいですし、自分たちの街を振り返ることに重点をおくこともできます。オランダの教材でも自転車をとりあげていますので、一緒に使ってもおもしろいでしょう。

### P.31 多様な人種が集まる国フランス

「多文化共生社会の実現」は、どの国にとっても大きな課題です。フランスで起こった暴動も他人事ではありません。ここではまず、地域の現状を知り、外国籍住民の人たちがどんなことに困っているのか、どうすれば一緒に楽しく暮らしていけるのか、住みやすい街がつかれるのかを考えます。最後にとりあげた「いじめ」の問題は、実は外国籍住民だけに限ったことではありません。地球には国籍に限らず、多様な人々がいること、だからこそおもしろいのだということに気づき、国際交流の目的のひとつは、「多文化共生社会の実現」であることが話し合えると、よりいいでしょう。

## 第4章 そして未来へ

### P.35 もしも外国とのつながりがなくなったら / P.36 未来の地球

導入としてもまとめとしても使えるプログラムです。P.37の成果物も参考にしてください。

## その他いろいろ

国際交流は楽しいものです。プログラムも楽しい雰囲気が進められるよう参加者に合わせた進め方にアレンジしてください。

プログラムは単独でも組み合わせても使えます。参加型のプログラムと情報提供の時間をうまく組み合わせましょう。例えば、P.17の「フランスの学校...ウソ？ ホント？」をした後に留学生や青年海外協力隊OB / OGなどのお話を伺うと、より楽しくわかりやすいと思います。

4～6人のグループで行うとアイデアが出やすく、場も盛り上がります。ただ、流れや状況に応じて、個人作業や全員での作業を交えながらメリハリをつけるといいでしょう。

各プログラムの最後に「気づいたこと、わかったこと、感じたこと」などを聞くふりかえりの時間をとると、より理解が深まり、記憶に残りやすいでしょう。

P.43に参考文献、出典などを掲載しています。特にデータについては、最新のものを使っていただいた方がいいと思います。

フランス以外の国の教材も作成しています（P.5）。同じテーマを扱っている国もありますので、組み合わせるとおもしろいかもしれません。例えば、料理や学校の様子などはいろいろな国のものを合わせて比較すると楽しいですネ。

慣れてきたら、グループごとに国を決めて子どもたちがファシリテーター役でプログラムを進めるのもおもしろいかもしれません。

# なぜフランス共和国？

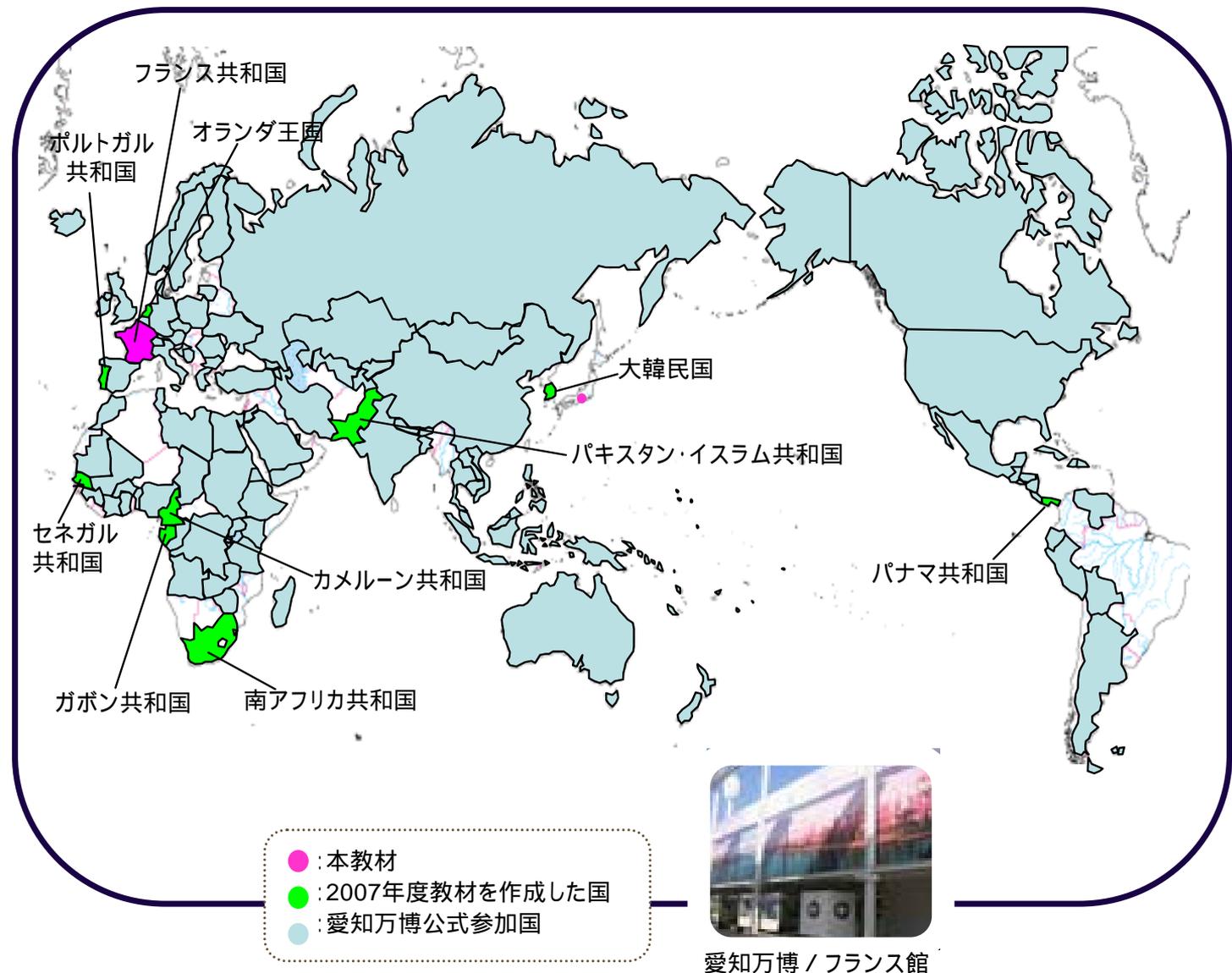
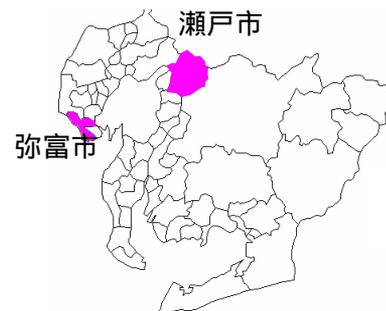
始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。

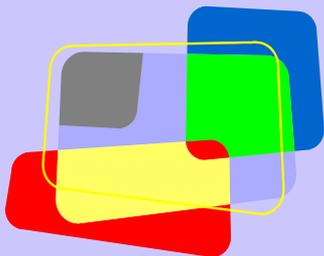
そして、フランス共和国のホームシティは、瀬戸市と弥富市でした。



 第1章

# フランスってどんな国？

= パリだけじゃないっ！さまざまな『フランス』 =



# クイズ100人に聞きました！

① ところで、みなさんはフランスのこと、どのくらい知っていますか？

① 下の地図でフランス共和国はどこにありますか？ここだと思ふところに印をつけてください。



② フランスと言えば何？人、物、イメージなど、何でもいいので思いつくものをできるだけたくさん挙げてみよう！

③ フランスで知っている都市の名前は？いくつ思い浮かぶ？

④ 知っているフランス人と言えば？



フランスの3色旗、実は青と白と赤の横幅の長さが違うんです。青：白：赤が3.30：3.33：3.37。国旗を掲げた時に、3色の横幅が平均して見えるように工夫されているのです。

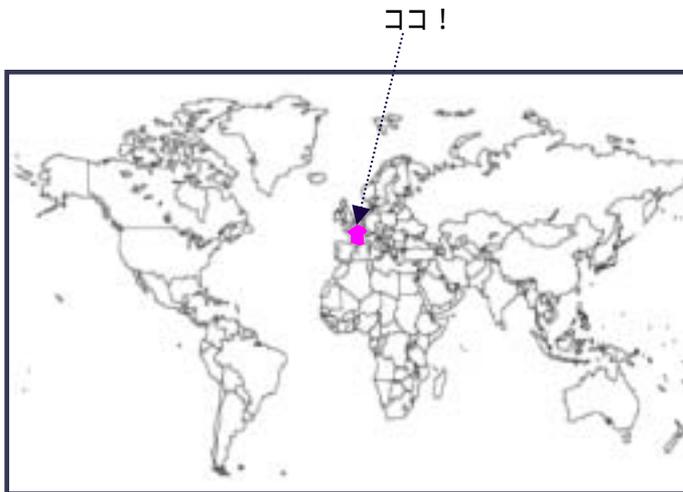


同じ質問を弥富市の小学生147人に聞いた結果は次のようになりました。



まずは「知らない」ということに気づくところから始めよう。

## 1. フランスはどこ？



正解率は約16.5%。大体の位置がわかる人をあわせると約34%の人がフランスがどのあたりにあるのかわっているという結果になりました。スゴイ!

## 2. フランスのイメージは？

1番多かったのは、ダントツで「フランスパン」(59人)。続いて「エッフェル塔」(29人)でした。

白人(20人) / フランス料理(17人) / 金髪・茶髪・ブロード(11人) / 凱旋門(8人) / ジダン(7人) / 青い・緑の瞳(7人) / 鼻が高い(7人) / トリコロール・国旗(7人) / フランス人(6人) / お菓子・チョコ(5人) / オシャレ・かっこいい(5人) / フランス人形(5人) / パスタ(4人) / 外国(4人) / キレイ(4人) / パリ(4人) / ナポレオン(4人) / マリー・アントワネット(3人) / 城・古城(3人) / モナリザ(3人) / ヨーロッパ(3人) / 黒人 / お金持ち / パリジェンヌ / 華奢 / 上品 / イケメン / 背が高い / ルイ13世 / ザビエル / マルコポーロ / ヴェルサイユ宮殿 / モンサンミッシェル / ノートルダム大聖堂 / 大きな家 / 白い壁 / 芸術の都 / ルーブル美術館 / オーケストラ / 自然 / 都会 / 花の都 / セーヌ川 / 土地が狭い / アルプス / 寒い / 高級 / なごやか / 車が多い / ボンジュール / パリ万博 / シャンゼリゼ通り / フランス革命 など

## 3. フランスで知っている都市は？

全体の約70%、105人が「パリ」と答えてくれました。他には2人がマルセイユと答えてくれました。その他の答えは残念ながらフランスの都市ではありませんでした。

フランスにはこのほか、映画祭で有名な南東部の都市「カンヌ」や自動車の24時間耐久レースで有名な西部の都市「ル・マン」、欧州評議会や欧州人権裁判所、EUの欧州議会本会議場のある北東部の都市「ストラスブール」などがあります。( P.41地図)



## 4. 知っているフランス人は？

多かったのは、サッカー選手の「ジダン」(25人)「(チエリ)アンリ」(7人)でした。歴史上の人物の「ナポレオン」(6人)もいました。

その他フランス人といえば、元大統領ジャック・シラク、現大統領ニコラ・サルコジ、空港の名前にもなっているフランス第5共和制初代大統領シャルル・ド・ゴール、デザイナーのルイ・ヴィトン、エマニュエル・ウンガロ、ココ・シャネル、クリスチャン・ディオール、「異邦人」を書いた作家のアルベール・カミュ、「悲しみよこんにちは」のフランソワーズ・サガン、「赤と黒」のスタンダール、哲学者のジャン・ポール・サルトル、音楽家のリチャード・クレイダーマン、クレモンティーヌ、エディット・ピアフ、画家のポール・ゴーギャン、マルク・シャガール、俳優のアラン・ドロン、日産のカルロス・ゴーン、元サッカー日本代表監督フィリップ・トルシエ、歴史上の人物としてジャンヌ・ダルク、占星術師のノストラダムスなどたくさんいますね。



フランスには、本土と4つの海外県のほかに、7つの海外特別自治体、特別自治体のニューカレドニアを統治しています。( P.13)

# パリとセーヌ河の物語

❓ フランスはパリだけではありません。でも、やっぱりパリもはずせません。ちょっとパリの街を散策してみましょう。

- 1 フランスの首都パリ。その歴史は、ケルト人パリシ族の人々が移り住んだ紀元前300年ごろにさかのぼりますが、パリシ族が最初に住んだのは、今のどのあたりでしょうか？  
A シテ島 B サン・ルイ島 C ルーブル美術館のあたり D エッフェル塔のあたり
- 2 パリの街は、図のように20の区に分かれています。ルーブル美術館のある1区を中心に時計回りに渦巻状に番号がついています。この形からある呼び名がありますが、それは何でしょう？  
A 時計 B トンボの目玉 C エスカルゴ D ロールケーキ
- 3 パリの街は、東西に流れるセーヌ河で2つに分かれ、セーヌ河の北側を右岸、南側を左岸と呼びますが、その間を36もの橋がかかっています。その中で最も古い橋はどれでしょう？  
A アレクサンドル3世橋 B ミラボー橋 C ポン・ヌフ D アルマ橋
- 4 セーヌ河クルーズ観光はとても有名ですが、その中の1つバトー・ムッシュは50年以上の歴史を持ちます。フランス語で「バトー」は船という意味ですが、「ムッシュ」はどういう意味でしょうか？  
A 男の人 B ハエ C 美術館 D 犬
- 5 セーヌ河のイエナ橋からシュリー橋までの約8kmの河岸は、その景観の美しさから1991年あるものに選ばれました。それは何でしょう？  
A 国宝 B 都市景観保全地域 C ヨーロッパ景観賞 D 世界遺産
- 6 フランスには1500以上の歴史的建造物が一般公開されており、見学者数は年間800万人を数えますが、1889年のパリ万国博覧会の時に造られた観光スポットはどこでしょう？  
A エッフェル塔 B ルーブル美術館 C ノートルダム寺院 D オランジェリー美術館
- 7 1789年のフランス革命は有名ですが、この革命で民衆が一番最初に襲撃したのはどこでしょう？  
A パリ市庁舎 B バスティーユ C アンヴァリッド D 凱旋門
- 8 フランス革命でマリー・アントワネットなど2600人が処刑されましたが、断頭台のあった当時「革命広場」と呼ばれていた広場は、現在のどこでしょう？  
A パレ・ロワイヤル B ヴァンドーム広場 C コンコルド広場 D バスティーユ広場
- 9 フランス国内には約1200の博物館、美術館があります。ルーブル美術館とともにパリが誇るオルセー美術館はもともと違う目的のために造られました。もともとは何だったのでしょうか？  
A 大学 B 病院 C 市庁 D 駅
- 10 ルーブル美術館に飾られているレオナルド・ダ・ヴィンチの『モナ・リザ』。ギネスブックに最も多額の保険をかけられた絵画として登録されているそうです。さて、その金額は？  
A 5億円 B 10億円 C 50億円 D 100億円



フランス人のシンボルは雄鶏。これは2000年前、ラテン語でフランスを意味する「ゴール」が「雄鶏」の意味でもあったことから始まっているそうです。

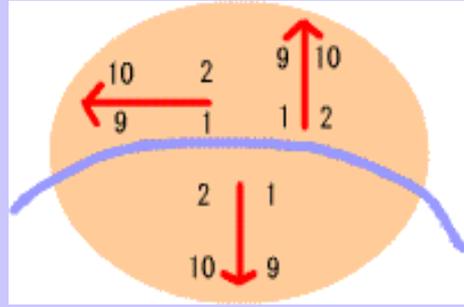


# パリの街

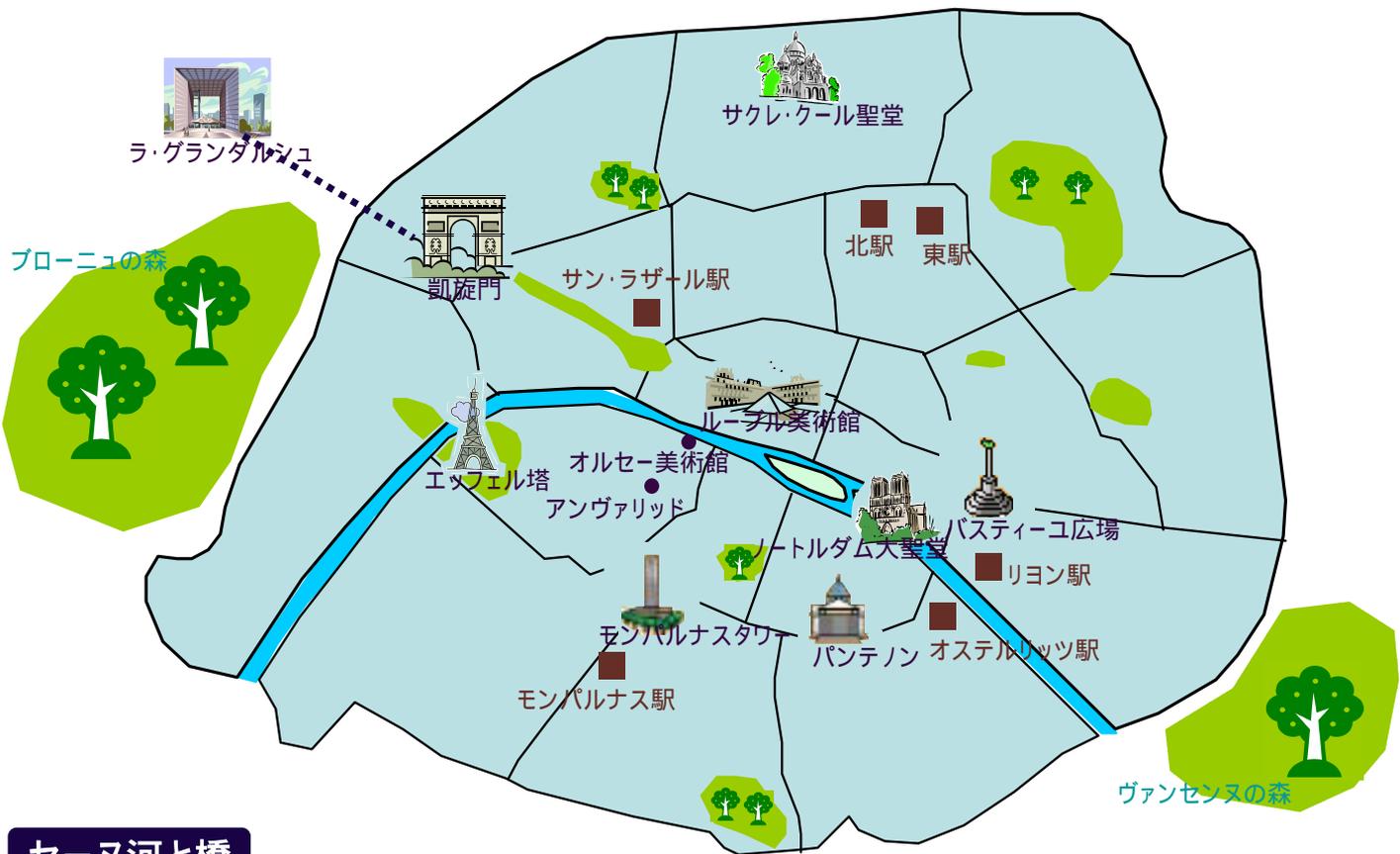


パリの街は20の区に分かれています。ルーブル美術館のある1区を中心に時計回りに渦巻状に番号がついています。

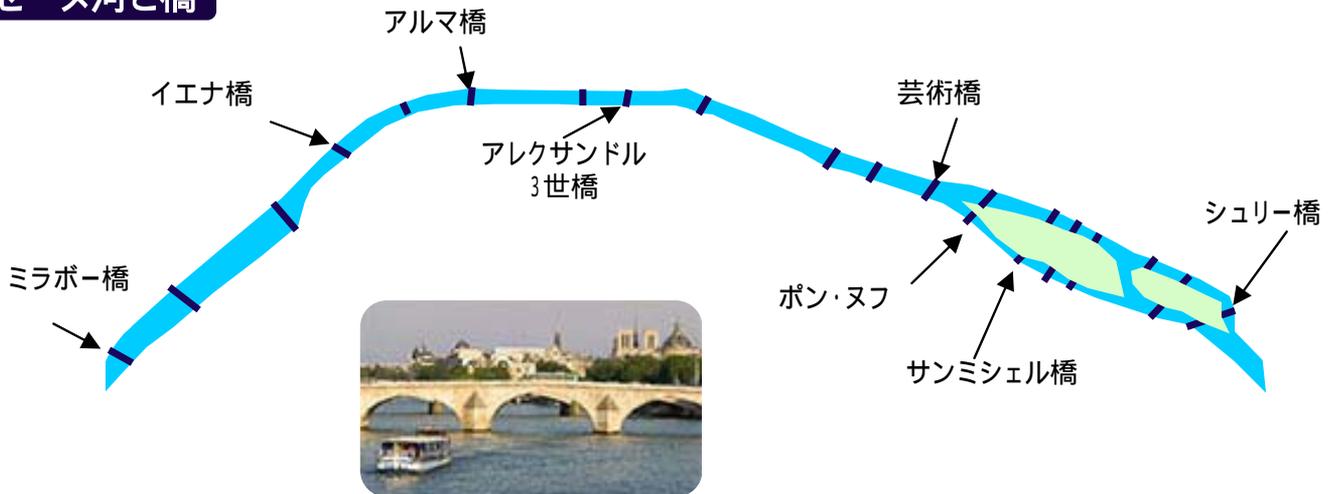
### 【パリの番地のつけ方】



番地はセーヌ河を中心に決められています。セーヌ河と垂直の通りはセーヌ河に近い方から、並行している通りは上流から番号が始まります。始まりの地点から見えて左側が奇数、右側が偶数です。



## セーヌ河と橋



フランス本土はほぼ正六角形の形をしています。そのため、レグザゴンヌ(六角形)とも呼ばれています。



P.9～10のこたえと解説です。



パリの建造物などを通して、教科書などでしか知らない歴史や芸術に触れよう。

- ① A シテ島      ② C エスカルゴ      ③ C ポン・ヌフ      ④ B ハエ      ⑤ D 世界遺産  
 ⑥ A エッフェル塔      ⑦ C アンヴァリッド      ⑧ C コンコルド広場      ⑨ D 駅      ⑩ C 50億円

## フランスの歴史

シテ島にケルト系(ガリア人とも呼ばれる)パリシイ族が定住したのは、紀元前3世紀ごろと言われています。ケルト人により「ルテティア」と呼ばれていたこの町は4世紀中頃には「パリ」と改名され、この頃からシテ島及びセーヌ河とその南側(左岸)に加え、北側(右岸)も開発され始めました。その後9世紀ごろに現在のフランスの原形ができました。

12世紀から13世紀にかけて、パリの人口は大幅に増え、典型的な中世都市として、ノートルダム寺院の建築なども行われました。8回にわたる十字軍遠征もこの時代のことです。そのころ、日本は鎌倉幕府の時代でした。1339年に始まった百年戦争を経て絶対王政が始まります。16世紀には、それまで商工業の地だったセーヌ河右岸のルーブル宮が正式な王宮になると、政治、経済の活動は右岸に集中。左岸は、学問や芸術、文化の中心になっていきました。

贅沢を極める王族・貴族に対し、苦しい生活を強いられた平民の不満は高まり、1789年ついにフランス革命が起こり、王政は廃止されます。そんな時現れたのがナポレオンです。近代フランスへの道を歩き始めます。ナポレオン没後は、王政復古、共和制誕生などを経て近代都市として大改造計画が進められます。

1855年には第1回パリ万国博覧会が開催され、1867年からは日本も参加します。エキゾチックな東洋の文化は好評を博し、ジャポニズムと言われる日本ブームも起こります。その後2つの大きな世界大戦を経て、EU統合によるフランス再生の道を歩んでいます。



セーヌ河とノートルダム寺院

## パリの街

パリの街は、東西に流れるセーヌ河で2つに分かれ、セーヌ河の北側を右岸、南側を左岸と呼びます。真ん中にシテ島とサン・ルイ島の2つの島があり、36の橋がかかっています。右岸にはモンマルトルの丘、左岸にはサント・ジュヌヴィエーヴの丘がなだらかに続き、西にはプローニュの森、東にはヴァンセンヌの森が広がっています。



モンマルトルの丘のサクレ・クール聖堂

パリの街はP.10の図のように20の区に分かれています。この形から、パリの20区は「エスカルゴ(カタツムリ)」と呼ばれています。パリには約5200の道があります。それらの道は、普通の通りRue(リュ)、並木のある大通りAvenue(アヴェニュー)、車が通れない細い路地Passage(パサージュ)またはAllee(アレ)など、いくつかの種類に分かれています。また、パリの番地はセーヌ河を中心に決められています。セーヌ河と垂直に通る通りは、セーヌ河に近い方から番号が始まり、セーヌ河に並行している通りは、上流(パリの東部)から番号が始まります。通りの始まりの地点から見て、左側が奇数、右側が偶数になっています。

## セーヌ河と橋

全長約780kmのセーヌ河はロワール河に次ぐフランス第2の大河です。ディジョン近くのラングル高原から北西に流れ、さらにトロア、フォンテーヌブロー、パリ、ルーアンと流れ、イギリス海峡にそそぎます。

セーヌ河には右岸と左岸を結ぶ橋は、それぞれが個性的で特徴があります。例えば、豪華さを誇るのは、1900年に完成した「アレクサンドル3世橋」。橋の4隅の柱に、女神とペガサスが彫刻され、パリで1番美しい橋と言われています。一方、シンプルで彫刻もされていない鉄製の橋は「芸術橋」。1803年造られました。車が通れない歩行者専用の端で、パリっ子の憩いの場になっています。また、シテ島を南北にはさむ「ポン・ヌフ」。フランス語で「新しい橋」を意味しますが、現存する最も古い橋で1604年に造られました。シテ島とパリ左岸をつなぐ「サンミッシェル橋」には橋脚に「N」の文字が刻まれています。これは、ナポレオンのNです。

このほか、歴史的な出来事の名前がつけられていたり、崩壊の悲劇を何度も繰り返し「悪魔の橋」と呼ばれる橋があったり、市民と政府軍との戦いで銃弾に倒れた市民の名前がつけられていたり、橋それぞれが物語を持っているのです。

セーヌ河クルーズはいくつかありますが、特に有名なのはバトー・ムッシュとバトー・パリジャン。バトー(Bateaux)は船、ムッシュ(Mouches)は「蠅」を意味します。名前の由来はいろいろあり、18世紀ごろ造船業が盛んだったフランス・リヨンのムッシュ地区で建造された船からきているという説が有力です。クルーズは、約1時間セーヌ河を遊覧し、1991年世界遺産に指定されたパリの景観を楽しめます。



バトー・ムッシュ

## パリの歴史的スポット

フランス革命にまつわるスポットとしては、コンコルド広場、ラ・コンシェルジュリ、バスティーユ広場、パレ・ロワイヤル、アンヴァリッドなどがあります。贅沢を極める王族・貴族に不満を募らせた民衆が**アンヴァリッド**を襲撃して銃と大砲を奪い、そのあとバスティーユ監獄を襲撃してフランス革命の口火が切られました。アンヴァリッドはもともと、傷ついた軍人、退役軍人のための廃兵院で、ナポレオンの遺骸も安置されています。また、現在のバスティーユ広場は革命当時の位置から少しずれています。

パレ・ロワイヤルにはギャラリーと呼ばれる屋根つきのアーケードがあり、パリの歓楽街としてにぎわいました。パレ・ロワイヤルのカフェは革命家たちのたまり場となりました。ラ・コンシェルジュリは、シテ島にある監獄で、革命後1200人が収容され、1年半の間に2600人がここから**コンコルド広場**の断頭台に送られました。マリー・アントワネットもその1人です。コンコルド広場はもともと「ルイ15世広場」という名前でしたが、革命後「革命広場」と名前を変え多くの人々が処刑されました。現在の「コンコルド」は平和を意味し、シンボルである中央のオベリスクは1833年にエジプトの副王から贈られたものです。

その他、凱旋門(エトワール)も有名ですが、凱旋門はナポレオンがロシア・オーストリア連合軍と戦って勝利したアウステルリッツの戦いでのフランス軍の栄光を讃えるために建築したものです。ナポレオンはその完成を見ることができず、1840年セントヘレナ島から遺骸となってパリに帰還した折、この凱旋門をくぐり、アンヴァリッドへ向かいました。その後も、大戦で戦死した兵士のシンボルとなっています。現在、凱旋門の屋上に登ることもでき、シャンゼリゼ通りなど大きな通りが12本放射状に走っているパリ市街を眺めることができます。



凱旋門

## パリの美術館



オルセー美術館

フランス国内には約1200の博物館、美術館がありますが、美術館と言っても、ルーブルやオルセーのような総合美術館、ピカソやヴィクトル・ユゴーのような個人美術館、ゴブラン織やバカラ・クリスタルのような工芸美術館など様々なテーマがそろっています。

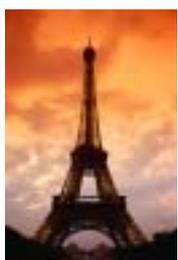
かつてフランス王家の宮殿であったルーブル宮殿が美術館となったルーブル美術館は、所蔵作品約30万点を誇り、ミロのビーナス、サモトラケのニケ、モナ・リザなど名作の宝庫です。**モナ・リザ**がフランスから持ち出されたのは2回しかありません。そのうち日本、ロシアと巡回展示された時に50億円の盗難保険がかけられ、最も多額の保険がかけられた絵画としてギネスブックに登録されています。

**オルセー美術館**は、ルーブルとともにパリが誇る大美術館。1900年万国博覧会を記念して駅舎として建てられましたが、1986年には美術館として生まれ変わりました。ルーブルが19世紀前半ぐらいまでの作品を揃えているのに比べ、オルセーは1848年から1914年の美術品を収めています。特に、印象派のルノワール、モネ、セザンヌ、ゴッホなどの代表作品は必見です。

オランジュリー博物館は、セザンヌ、ルノワール、ルソー、モディリアニなど印象派の作品144点が所蔵されています。モネの晩年の大作「睡蓮」(8枚連作)は圧巻です。オランジュリーの名は、ナポレオン3世がこの場所に造ったオランジュ温室に由来しています。

## 進化するパリ

**エッフェル塔**は、革命100周年を祝った1889年の万博の時に技師ギュスターヴ・エッフェルの設計で造られました。当時は「パリの名誉を汚す怪物」として非難を受けましたが、現在はパリでも最も多くの観光客が集まるスポットとなっています。(年間600万人)



エッフェル塔

第二次世界大戦後のフランスは自立と再生を目指し、新しくシンボルとなる建物が次々と造られています。ポンピドゥー文化芸術センターやラ・グランダルシュ(新凱旋門)、ルーブル美術館のガラスのピラミッド、オペラ・バスティーユ(新オペラ座)など、建てられるたびに賛否両論の議論が闘わされますが、エッフェル塔と同様、最終的には新旧の建造物がうまく調和してパリの新しい景観となっているのです。



オペラ・バスティーユ

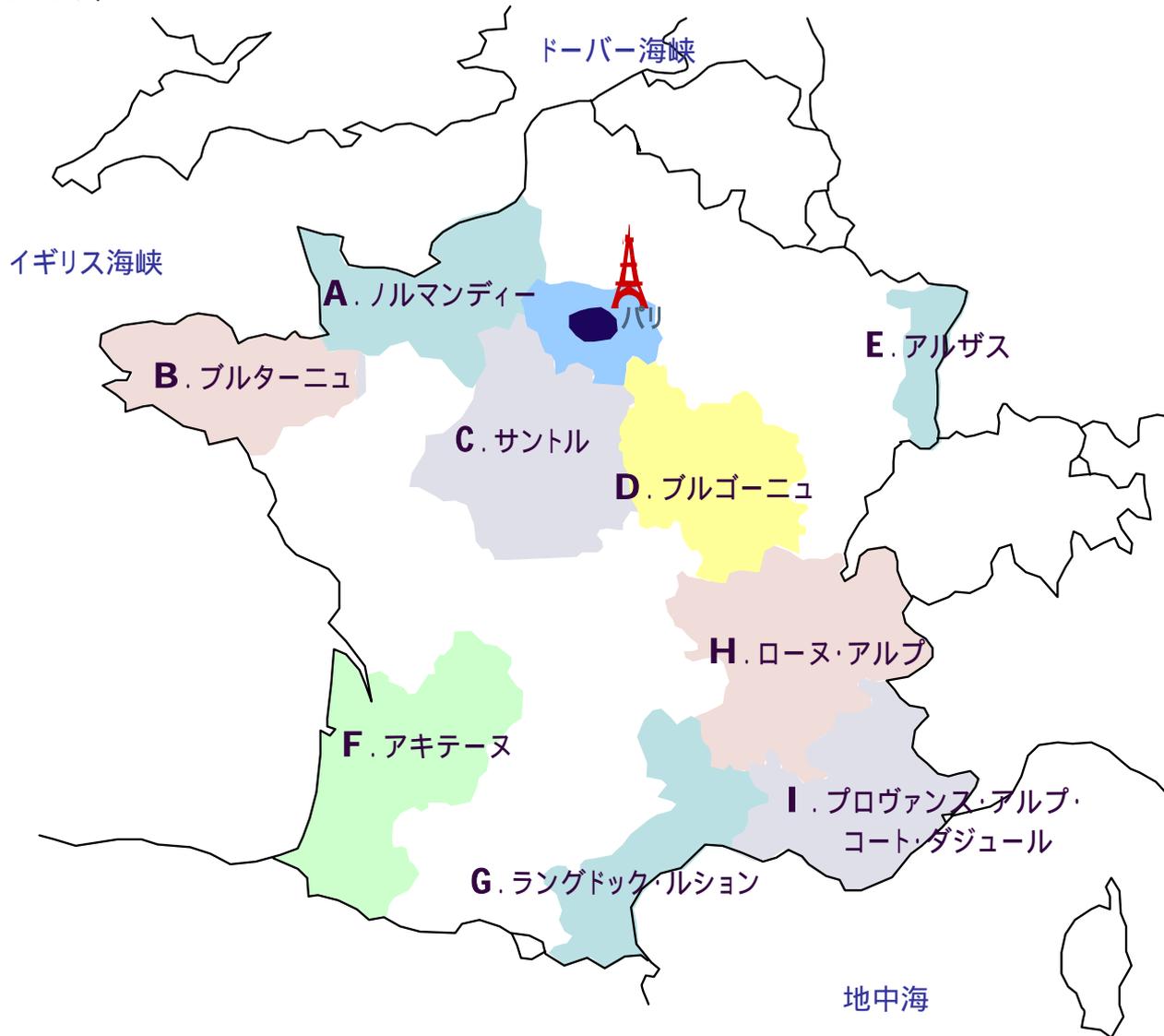


ルーブル美術館

# 「フランスを旅しちゃおうマップ」を作ろう！

❓ パリ以外のフランスをどのくらい知っていますか？  
ちょっと足をのばして旅してみましょう

フランス共和国は、22の地域圏(96の県)からなる本土と4つの海外県(グアドループ、ギuyアンヌ、マルティニック、レユニオン)によって構成され、7つの海外自治体(仏領ポリネシア、ワリス・エ・フトゥナ、マイヨット、サン・ピエール・エ・ミクロン、仏領南極地域領土、サン・バルテミー、サン・マルタン)と特別自治体(ニュー・カレドニア)を統治しています。



- 1 さて、そんなフランスのいくつかの地方を旅してみましょう。次のカードは上の地図の地方を紹介したカードです。( P.14)それぞれどの地方のことを紹介しているでしょうか？ カードを地図に貼っていきましょう。
- 2 次にそれぞれの地方の料理について書かれているカード( P.15)を選んで地図に貼っていきましょう。
- 3 さあ、「フランスを旅しちゃおうマップ」のできあがりです。みなさんはどこに行ってみたいですか？ みんなで感想を話し合ってみましょう。





**1** 世界中のグルメを魅了する極上ワインで知られるこの地方。中心都市ボルドーは、ユネスコの世界遺産に指定されました。洞窟で有名なラスコー、ヨーロッパ最大の砂丘があるアルカションはこの地方にあります。



**2** 「古城の郷」であるこの地方は、美しい自然と豊かな田園地帯に囲まれ、「フランスの庭」とも呼ばれます。フランスで最も美しいゴシック建築とされているシャルトル大聖堂は、ユネスコの世界遺産に登録されています。トゥールはかつて一時的にフランスの首都がおかれた場所でもあります。また、ジャンヌ・ダルクで有名なオルレアンもこの地方にあります。



**3** 年間300日近くもの晴天を誇るこの地方。この地方の中心都市モンペリエは、古くから伝統工業として弦楽器を製造しています。ヨーロッパ最大の城壁カルカソンヌやローマ式水道橋ポン・デュ・ガールが見所です。



**4** スイスとイタリアとの国境にあるこの地方は、標高4,810m、ヨーロッパの屋根とも呼ばれるモンブランの万年雪、南部地域のラベンダー畑まで、変化に富んだ風景を楽しめます。レマン湖、アヌシー湖、ブルジェ湖といった透明度の高い湖が数多くあり、ミネラルウォーターで有名なエヴィアンもこの地方にあります。また、フランス第2の都市リヨンは2000年の歴史を誇る街です。



**5** パリから約1時間で行けるこの地方は、モン・サン・ミッシェルなど変化に富んだ自然がすばらしく、印象派の画家を魅了しました。クロード・モネのジヴェルニーの家があるのもこの地方です。この地方の首都はルーアンで、「100の鐘楼がある街」と呼ばれています。『レ・ミゼラブル』を書いたヴィクトル・ユゴーゆかりの地でもあります。



**6** 世界に誇るワインの産地また、美食の地として有名です。マスタードで有名なディジョン、「黄金の丘」と呼ばれる丘陵地帯のあるポーヌはこの地方にあります。あでやかな屋根を持つポーヌ療院は、1443年に建てられたもので、一見の価値がある建築物です。



**7** 北は英仏海峡、南は大西洋に面し、雨の多い半海洋性気候。イギリスからわたってきたケルト人を祖先に持つこの地方は、独特の歴史と文化を持っています。人々の生活は素朴で、まるで中世にタイムスリップしたかのような町並みです。中心都市はレンヌで、かつては海賊の拠点となったサン・マロの港などがあります。



**8** ドイツ・スイスとの国境に接するこの地方は、フランス有数のぶどうの産地でもあります。この地方にあるストラスブルの旧市街グランド・イルは、ユネスコ世界遺産に登録されており、運河沿いに木組みの家が並ぶプチット・フランスの界隈では典型的なアルザス様式の建築が並びます。



**9** 映画祭で有名なカンヌ、ニースなどがあり、「水色の海岸」という名が示すとおり、紺碧の海岸がとても美しい地方です。香水で有名なグラス、ガラス作りで知られるピオット、ピカソ美術館のあるアンティープなどもあります。





**1** 海の魚介類や川魚、キノコなど様々な食材があり、何時間もじっくり煮込むような料理がたくさんあります。特に、インゲン豆と肉を煮込んだカスレは有名です。またこの地方で生産される黒トリュフはフランスにおけるトリュフ生産の16%を占めます。



**2** この地方ならではの料理が多く、そば粉のクレープや風味付きのブランド羊「プレ・サレ」や丸いカキ「ブロン」などが有名です。また、りんごの栽培も盛んなので、この地方でもシードルを飲みます。



**3** ワインの名産地で、ワインを入れて煮込む料理がたくさんありますが、特に、牛肉の赤ワイン煮が有名です。またブドウの葉で育てたブルゴーニュ風エスカルゴ料理も定番です。ディジョンのマスタードやカシスを使った食前酒「キール」も有名です。



**4** この地方で生まれるチーズは有名で、おなじみカマンベールチーズの産地でもあります。りんごの果樹園も多く、りんごで作る発泡酒「シードル」や蒸留酒の「カルヴァドス」は特産品です。舌平目を白ワインでゆで、生クリームソースと合わせた小エビやマッシュルーム、ムール貝を加えたソール・アラ・ノルマンドやムール貝の白ワイン蒸しに生クリームを入れたムール・ノルマンドなどが有名です。



**5** この地方の料理は、野菜や魚の素材の持ち味を生かすようあっさり調理するのが特徴。「香りが命」といわれ、オリーブ油、ニンニク、ハーブ、トマトを多く使います。ニース風サラダは有名です。港町マルセイユでは、ブイヤベースという料理が考えられました。また、カマルグという湿原は、フランスで唯一の稲作産地となっています。この地方では、ヤギや羊の乳を使ったチーズがたくさんあり、栗の葉で包んだバノンなどがあります。



**6** この地方にあるボルドーはワインの産地。赤ワインのソースがよく使われます。ボルドー風ヤツメウナギのワイン煮やコンフィという油に漬けた鴨肉をよく食べます。カヌレはボルドーの名物菓子です。また、国境を越えてスペインにまたがるバスク地方では、唐辛子を使った独特の料理があります。



**7** 淡水魚を使った料理が多いです。エシャロットと白ワインを使ったブル・ブラン・ソースはこの地方で作られたもの。また名物菓子のタルト・タタン。ホテルの経営者タタン姉妹がお客さんとおしゃべりしていて、ひっくり返してしまったことから作られた、こんがり焼けたリンゴのタルトです。この地方ではヤギの乳で作られたチーズも特産です。



**8** 冬の寒さが厳しくドイツに近いこともあってソーセージなどの豚肉加工品が豊富です。すっぱいキャベツに野菜、ソーセージ、肉などをのせて煮込んだシュークルートは、代表的な料理です。また、フランスの美味を代表するフォアグラの名産地でもあります。この地方では、牛乳から作られるウォッシュタイプのマンステルというチーズが特産です。



**9** この地方のリオンは、「グルメの地」として有名。豊富な食材に恵まれ、アラ・リヨネーズ(リオン風)の料理に事欠きません。ブレスの鶏、シャロレの牛肉などを使った料理のほか、生ハム、高級ソーセージ、腸詰などの加工食品も有名です。「ヌーベル・キュイジーヌ」(一口コラム)もこの都市から生まれました。



「ヌーベル・キュイジーヌ」とは、「新しい料理」という意味のフランス語。伝統的な料理に軽さとカジュアルさを取り入れた料理で、1970年代に流行しました。日本料理の小皿の盛りつけからヒントを得たとされています。



P.13 ~ 15のこたえと解説です。



フランスには様々な特徴を持つ地域があることを楽しもう。



A. ノルマンディー 5 4

B. ブルターニュ 7 2

C. サントル 2 7

D. ブルゴーニュ 6 3

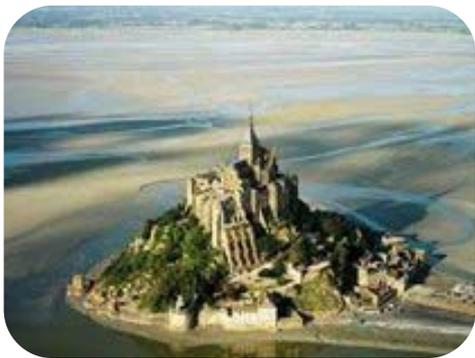
E. アルザス 8 8

F. アキテーヌ 1 6

G. ラングドック・ルシヨン 3 1

H. ローヌ・アルプ 4 9

I. プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール 9 5



モン・サン・ミシェル



ストラスブール



ディジョンのマスタード



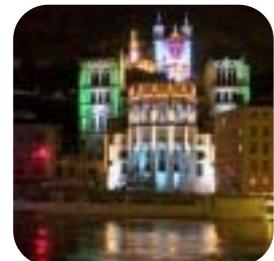
タルト・タタン



ボヌン施療院



サン・マルコ



リヨン



ラスコーの洞窟



ブルゴーニュのぶどう畑



エヴィアン



アキテーヌの唐辛子



カヌレ



モンペリエ



カルカッソンの城塞



フランス政府観光局ウェブサイト

# フランスの学校...ウソ? ホント?

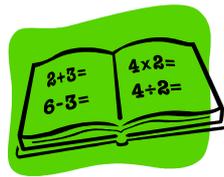
① 次のカードは、フランスの学校生活について書かれているものですが、ウソ? ホント?



① フランスの小学校も土曜日と日曜日がお休みの週休2日制です。



② 新しい学年になったら、まとめて教科書を買います。



③ 小学校でも飛び級や落第があるので、いつもドキドキ!



④ 小学校の入学式や卒業式には家族がみんな来てくれます。



⑤ 今フランスではゲームが大流行。休み時間には教室でゲームをやって遊びます。



⑥ 授業で手を挙げるときは、人差し指をたてます。これがフランス流!



⑦ フランスでは、給食ももちろんコースメニュー。前菜、メイン、デザートがでます。



⑧ 小学校の場合、学校が終わったらみんなでグループで帰ります。



⑨ 中学校・高校の学年は、学年が上がるにつれ数字が小さくなります。





P.18のこたえと解説です。



フランスの学校と日本の学校どんなところが違う?比較しながらフランスの子どもたちの日常生活に触れよう。

- 1 **×ウツ** フランスの公立小学校のお休みは水曜日と日曜日、そして隔週または月2回土曜日がお休みです。ただし、1日の授業時間は6~7時間と長いです。
- 2 **×ウツ** フランスの義務教育は完全に無料。小中学生なら教科書は貸与、ノートはもらえます。教科書は、何代もの子どもたちが順番に使いまわすハードカバーのずしりと重いもの。新しい学年になったら、その教科書が先生から渡され、生徒たちは、1年使われて汚れたビニールカバーをはずし、新しいカバーにつけかえるのです。
- 3 **ホント** 本当です。フランスの教育は厳しく、成果が基準に達していないと、小学校でも落第があるのです。逆にすばらしい成績の子は、学年を1つ飛ばして進級できる飛び級制度もあります。
- 4 **×ウツ** フランスには入学式や卒業式、始業式や終業式などはありません。「学校は学科を教えるところ、知識を学ぶところ」と徹底しているため、生徒会活動やクラブ活動などありません。
- 5 **×ウツ** フランスでは教室は「勉強するところ」とされており、休み時間に教室で遊ぶことはできません。授業が始まるまで教室には鍵がかかって入ることができませんし、休み時間は全員教室の外に出されます。子どもたちは、鬼ごっこをしたり、バスケットやサッカーをして遊びます。
- 6 **ホント** 本当です。おもしろいですネ。
- 7 **ホント** 本当です。そうやって、子どものころから食事のマナーを身につけるのです。学校によっては給食がなく、お昼休みは家に帰る場合もあります。ただ、共働きの家庭など家で昼食をとることができない時は、学校の食堂で食べることもできます。その場合も、前菜、メイン、チーズ、デザートなどきちんとコースになっているのです。
- 8 **×ウツ** フランスでは、子どもが校舎に入るまでは、親の責任という考え方があり、特に小学校は、必ず親が学校に送り迎えすることになっています。そのかわり、学校の中のことはすべて教師に任せます。親が学校の中に入ることを禁じる学校もあるほどです。
- 9 **ホント** 本当です。(下図参照)例えばフランスの6年生は日本の中学1年生。5年生は中学2年生なのです。

## フランスの教育制度 (5・4・3・3制)

| (歳)   | 3   | 5 | 6     | 10  | 11 | 14 | 15 | 17  |                               |    |    |      |      |
|---|---|---|-------|---|----|----|----|---|-------------------------------|----|----|------|------|
| <b>幼稚園</b>  | 幼稚園   |   |       | <b>中学校 (コレージュ)</b>  |    |    |    | <b>高校 (リセ)</b>  | 大学/グランド・セコール<br>バカロレア → 技術者免状 |    |    |      |      |
|  |   |   |       |  |    |    |    |  |                               |    |    |      |      |
| <b>小学校 (エコール・プリメール)</b>   | 準備クラス   |   | 初級クラス | 中級クラス   |    | 6年 | 5年 | 4年  | 3年                            | 2年 | 1年 | 最終学年 | 最終学年 |
|   | C   | C | C     | C   | C  |    |    |   |                               |    |    |      |      |
|   | P   | E | E     | E   | E  |    |    |   |                               |    |    |      |      |
|   |   | 1 | 2     | 2   | 2  |    |    |   |                               |    |    |      |      |
|   |  |   |       |   |    |    |    |   |                               |    |    |      |      |
|   |   |   |       |   |    |    |    |   |                               |    |    |      |      |
|   |   |   |       |   |    |    |    |   |                               |    |    |      |      |



フランス国内には、約1200の博物館、美術館があり、毎年数千万人以上が見学に訪れています。ルーブル美術館とヴェルサイユ宮殿、オルセー美術館だけで、毎年約1500万人の見学者を受け入れているそうです。



# ちょっとブレイク



## なんだ、これ？ マルシェで見つけたヘンテコな野菜

フランス人の日常生活にマルシェ (marché) は欠かせません。スーパーマーケット (シュペールマルシェ) ももちろんありますが、野菜や魚などの生鮮食品はマルシェで買うという人が多いのです。現在フランスには約7000、パリには84のマルシェがあり、その形態は主に3つ。

道路や広場などに定期的な開かれる露天型の朝市。朝7時ぐらいからお昼過ぎまで開いていて主に食品を売っている。

屋根つきの大きな建物の中にある市場で、週6日開いている。

花市、鳥市、切手市、古本市、のみの市など、特別なものを扱う露天型の市。



そんなマルシェから、日本ではあまり見かけない野菜をいくつか拾ってみました。何だかわかりますか？

 パリ観光局  
ウェブサイト

1



2



3



4



5



6



7



8



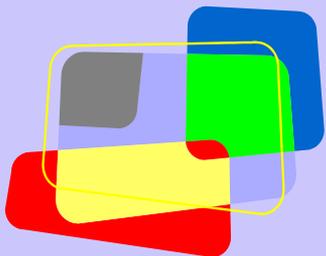
9



- ズッキーニ: きゅうりに似ていますが、ペポかぼちゃとかぼちゃの仲間。色は緑と黄色があります。ズッキーニはイタリア語で、フランス語では「クルジェット」と言います。南フランスの野菜料理「ラタトゥイユ」には欠かせません。
- アーティチョーク: エジプトから南ヨーロッパ地方に生息するキク科の植物。「朝鮮あざみ」とも言われます。
- ベトラブ(ビーツ): 砂糖大根の一種で、ラディッシュと違い根の中心まで赤です。日本ではテンサイと呼ばれている根野菜です。
- チリメンキャベツ: 葉の表面がちりめん状に縮れているのが特徴でフランスのサヴォア地方で改良されたことからサヴォアキャベツとも言います。
- ルバーブ: 漢方薬の「大黄」の一種でヨーロッパでは肉類の消化を助ける働きが認められていることからサラダやデザートとしてよく使われています。
- ロマネスコ: カリフラワーの一種。カリフラワーと同様、未成熟の花序と茎を食用にします。アブラナ科の野菜の中では比較的穏やかで微かに甘い芳香を持ちます。
- 根セロリ: フランスではセルリラブと言われます。見かけによらず、繊細な味。セロリに似ていますが、セロリが苦手な人にもおすすめです。サラダや煮込み料理に使います。
- 白トリュフ: いわずと知れた3大珍味トリュフ。にんにくを思わせる匂いがしますが、クリーム系のソースやリゾット等の料理に薄切りにして振りかけたり、サラダ等にもあいます。7と8は区別が難しいですネ。
- チコリ: キク科の多年草で、フランスではアンディーブとも呼ばれます。葉を食べるもの、根を食べるもの、葉と根とを食べるものの3種あります。生でサラダに用いるほか、バター炒めやグラタン、煮込み料理などに使います。

 第2章

へえ～！フランスと日本



# 日本とフランスの交流にまつわるウソ？ホント？

① 2008年は近代日本とフランスが日仏修好通商条約を結んで(1858年)から150周年にあたります。その間日本とフランスは密接な関係を築いてきました。



① 日本が初めて万博に参加したのは、1867年のパリ万博です。



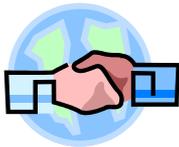
② 1867年のパリ万博では、名古屋の「金のしゃちほこ」が出展され話題になりました。



③ 1858年に日仏修好通商条約が結ばれたとき、フランス人が初めて来日しました。



④ 2006年の統計では、フランスの自治体と姉妹都市提携を結んでいる日本の自治体は48あります。



⑤ 日本の芸術に強い関心を受け、自分の家に日本庭園をつくった画家はクロード・モネです。



⑥ 1974年来日して話題になったレオナルド・ダ・ヴィンチの作品は、「モナ・リザ」です。



⑦ ボジョレー・ヌーボを世界で一番早く飲めるのはもちろんフランスです。



⑧ 「日仏交流150周年」のロゴマークには凱旋門が描かれています。



⑨ パリで毎年7月初めに開催されるヨーロッパ最大規模のポップカルチャーのイベントは「ジャパン・エキスポ」と言います。



フランスのカフェの飲み物の値段は場所によって違うんです。カウンターが一番安く、次が店内。そしてテラスが一番高いのです。それぞれ4割から5割高くなるとか。仕事の前にちょっとコーヒーという場合、ほとんどの人がカウンターで立ったまま飲んでいるのは、これが理由なのですね。



P.21のこたえと解説です。



フランスと日本の交流を知ることにより、フランスを身近に感じよう。

- 1 **ホント** 万国博覧会が初めて開催されたのは、1851年のロンドン万博です。フランスの経済学者ミシェル・シュバリエの発案で開催されました。1862年のロンドン万博では福沢諭吉らが見物にでかけましたが、参加したのは1867年のパリ万博が最初です。江戸幕府、佐賀藩、薩摩藩がそれぞれ出品しました。さらに1878年のパリ万博でも明治政府が出品し、日本の陶器、浮世絵などの美術品は欧米の人々を魅了し、ジャポニズムが流行しました。
- 2 **×ウソ** 金のしゃちほこが出展され、話題になったのは、1873年のウィーン万博でした。2005年の愛知万博の開会式でも展示されましたね。
- 3 **×ウソ** 日仏修好通商条約が締結されたのは1858年ですが、1637年ドミニコ会司祭ギョーム・クルテが九州に上陸したのが、フランス人として初めての来日でした。キリシタン弾圧が厳しい時代で、ギョーム・クルテも禁教令に反したとして処刑されてしまいます。
- 4 **ホント** 東京都や京都市とパリ、横浜市とリヨン、神戸市とマルセイユ、鎌倉市とニースをはじめ、48の自治体がフランスの自治体と姉妹都市提携を結んでいます。愛知県では、瀬戸市がリモージュと姉妹提携を結んでいます。瀬戸焼とリモージュ焼という共通の伝統工芸が結ぶ提携です。
- 5 **ホント** クロード・モネは日本の芸術に強い関心を寄せていました。歌麿や、北斎の浮世絵も数百枚購入しており、それらは彼が暮らしたジヴェルニーの家(博物館)で見ることができます。ジヴェルニーの家には、睡蓮の池や竹やぶ、太鼓橋のある庭園がつけられています。
- 6 **ホント** 「モナ・リザ」です。その日本展示は、当時の田中首相とフランスのポンピドー大統領の会談によって決まりました。1974年4月20日から6月10日まで上野の東京国立博物館で開催された「モナ・リザ展」には約150万人が訪れたそうです。ちなみに、入場料は200円でした。
- 7 **×ウソ** フランスの都市リヨンから1時間ほどの郊外にあるボジョレー地方で作られた「ボジョレー」「ボジョレー・ヴィラージュ」という銘柄の新酒を「ボジョレーヌーボ」と言います。毎年11月の第3木曜日が解禁日で、その日より前に販売してはいけないことになっています。日付変更線の関係で、最も早い解禁日を迎えるのは日本です。
- 8 **×ウソ** 凱旋門ではなく、エッフェル塔が描かれています。日仏審査委員会が日仏交流150周年を祝うロゴマークとして700点を超える応募作品から右の作品を選びました。このロゴマークは、日本とフランスを象徴する着物とエッフェル塔を調和させ両国のシンボルカラーを配色したものです。パリ在住のグラフィックデザイナー、ケレル・ポーム氏(Mlle Claire Paumes)の作品です。
- 9 **ホント** パリで毎年7月初めに開催されます。マンガ・アニメを中心に、ゲーム、ミュージック、モードなど幅広いポップカルチャーを取り入れながら、日本の伝統文化やアジア全般の文化も紹介されます。2007年度の来場者数は8万人でした。



ジヴェルニーの家



ロゴマーク(日本語版)



『新たな友好関係へ 日仏交流150周年』パンフレット(外務省)  
フランス政府観光局ウェブサイト  
「ジャパン・エキスポ」ウェブサイト



ワインの赤・白・ロゼ。赤ワインは、果皮が黒または濃い赤のぶどうを使い、果皮、種子がついたまま発酵させます。白ワインは、果皮が黄、緑のぶどうを使い、果皮も種子も取り除いて発酵させます。ロゼワインは、果皮が黒のぶどうを途中まで赤と同じように発酵させ、途中で果皮を取って発酵を続けます。

# 大人気！日本のMANGA

① みなさんはどんなマンガが好きですか？

① さて、次の日本のマンガはフランスではどんなタイトルになっているでしょう？ 下から選んでください。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| ① 家なき子        | ⑪ ドラゴンクエスト ダイの冒険 |
| ② うる星やつら      | ⑫ はいからさんが通る      |
| ③ エースをねらえ!    | ⑬ ハクション大魔王       |
| ④ ガラスの仮面      | ⑭ 花の子ルンルン        |
| ⑤ キャプテン翼      | ⑮ 陽あたり良好!        |
| ⑥ キャンディ・キャンディ | ⑯ ひみつのアッコちゃん     |
| ⑦ キューティーハニー   | ⑰ ベルサイユのばら       |
| ⑧ 紅の豚         | ⑱ めぞん一刻          |
| ⑨ シティーハンター    | ⑲ リボンの騎士         |
| ⑩ タッチ         | ⑳ ルパン3世          |

- |                |                |               |              |
|----------------|----------------|---------------|--------------|
| A. ジュリエット、愛してる | F. ニッキー・ラルソン   | K. サファイア王子    | P. ラム        |
| B. リディの世界一周    | G. フライ         | L. キャロリーヌ     | Q. エドガー大強盗探偵 |
| C. オスカー嬢       | H. キャンディ       | M. ビンの中のロベール  | R. ポルコ・ロッソ   |
| D. 家族なきレミ      | I. ゲーム、セット、マッチ | N. ローラ、演劇への情熱 | S. マークとマリー   |
| E. オリーブとトム     | J. テオ、勝利のバット   | O. 新しい生活      | T. チェリーミエル   |

 パリ発マンガ情報サイト「ユーロジャパンコミック」ホームページ

② フランスの若者の中で、日本のアニメやマンガは大人気。「クール(かっこいい)」とされています。それを聞いてどう思いますか？ ( P.24・25 )

③ 外国の文化で「これ好き」とか「かっこいい」と思うものはありますか？

④ では、アニメやマンガ以外の日本文化で、是非外国の人に知ってもらいたい、紹介したいというものはありますか？ グループで話し合ってみましょう。





P.23のこたえと解説です。



日本文化が世界で認められていることを知って誇りを持つとともに、日本のもの外国のものに関わらず、文化を大切にすることを育てよう。

- |               |                |                   |                |
|---------------|----------------|-------------------|----------------|
| 1 家なき子        | D. 家族なきレミ      | 11 ドラゴンクエスト ダイの冒険 | G. フライ         |
| 2 うる星やつら      | P. ラム          | 12 はいからさんが通る      | S. マークとマリー     |
| 3 エースをねらえ!    | I. ゲーム、セット、マッチ | 13 ハクション大魔王       | M. ピンの中のロベール   |
| 4 ガラスの仮面      | N. ローラ、演劇への情熱  | 14 花の子ルンルン        | B. リディの世界一周    |
| 5 キャプテン翼      | E. オリーブとトム     | 15 陽あたり良好!        | O. 新しい生活       |
| 6 キャンディ・キャンディ | H. キャンディ       | 16 ひみつのアッコちゃん     | L. キャロリーヌ      |
| 7 キューティーハニー   | T. チェリーミエル     | 17 ベルサイユのばら       | C. オスカー嬢       |
| 8 紅の豚         | R. ポルコ・ロッソ     | 18 めぞん一刻          | A. ジュリエット、愛してる |
| 9 シティーハンター    | F. ニッキー・ラルソン   | 19 リボンの騎士         | K. サファイア王子     |
| 10 タッチ        | J. テオ、勝利のバット   | 20 ルパン3世          | Q. エドガー大強盗探偵   |

## フランスの漫画BD

フランスの漫画といえば、「タンタン」が有名ですが、「タンタン」に代表されるフランスの漫画のことを「バンド・デシネ (bande dessinée)」、略して「B. D. (ベーデー)」と言います。「バンド・デシネ」はフランス語で「帯状のデッサン」を意味し、「9番目のアート」として芸術として認められています。(ちなみに「7番目のアート」は映画、「8番目のアート」はテレビ・ラジオです。)例えば、アングレーム市では、毎年1月末に「アングレーム国際BDフェスティバル」が開かれ、フランス唯一のBDミュージアムもあります。

BDは、絵本のようにハードカバーでA4サイズがほとんど。50ページぐらいでフルカラーが一般的です。ストーリーより絵が主体で、皮肉やユーモアあふれる、社会や人生観を描いたものが多くなっています。また、読者対象は、青少年～30歳代前半の男性で、少女マンガはほとんどありません。

新刊は、年間1500～2000点程度。BDのプロ作家と呼ばれている人数は約1500人です。

## フランスにおける日本のMANGA

1990年代に、日本のマンガがフランスで出版され始めましたが、1970年代にはテレビで日本アニメが放映されており、すでに日本のアニメやマンガに対する人気は高まっていました。70年代に放映された「グレンダイザー」や「キャンディ・キャンディ」は子ども世代の視聴率100%と言われ、その後も「ドラゴンボール」「キャプテン翼」など大きな人気を博しました。

そんな中出版された日本のマンガは、特に少女読者の心をつかみ、急激に普及しました。フランスの政府の公式統計に「マンガ」という分類ができたほどマンガは広まったのです。2004年には、マンガの売り上げは、7240万ユーロ、1070万冊となっています。現在、アメリカに抜かれてしまいましたが、フランスはヨーロッパでもっとも日本のマンガが売れている国なのです。( P.25新聞記事)

最近では、マンガの人気が高まったことを背景に、公立図書館でマンガを置くことが一般的になってきています。ちなみに、フランスには日本のマンガの他に韓国のマンガも売られており、韓国のマンガのことは「マノワ (Manhwa)」と言います。



パリ発ヨーロッパのマンガ情報 [http://www.eurojapancomic.com/pro/report\\_14/report\\_14.shtml](http://www.eurojapancomic.com/pro/report_14/report_14.shtml)  
欧州におけるコンテンツ市場の実態(日本貿易振興機構(ジェトロ))

# 「MANGA」 フランス・パリ 専門店街が出現

フランスで日本漫画の人気広がっている。「名探偵コナン」など百万部が売れる人気シリーズも登場。パリには漫画の専門店街が現れ、若者がフランス語に訳された作品を品定めしている。フランスの出版社が翻訳版の販売を始めて約二十年。百以上の新作が毎年出版され、すっかり日常生活に溶け込んでいる。

「漫画」はフランス語で「パリの学生街、カルティエラタンにあるダントネ」だが日本製だけは「MA 通り。看板に「MANGA」で通用する。独 A」の文字を掲げ、日本の目のジャンルと理解され、漫画やアニメなどのフィギュアをショーウィンドウに飾り、客層は十、三十代が中心。五、十五ユーロ（約



パリの学生街、カルティエラタンの漫画専門店。壁一面にフランス語訳の日本漫画が並んでいる（共同）

## 「コナン」100万部売れる

八百―二千五百円）で週に三百冊近くが売れる。日本でも人気の「ドラゴンボール」や大人の読者が多い「太極の黙示録」などシリーズ作品が人気で、「暴走族」「銀座」など用語の注釈ページを付けた作品も。マッソンさんの漫画歴は十年以上。フランス人作家が描く漫画は芸術性を追求しがちだが、日本

に所狭しと飾った専門店が十軒以上並ぶ。この数年、出生が絶えている。「予想外のストーリー展開に絶妙なコマのつなぎ方。これに尽きるね」と専門店「パルプス」の店員マッソンさん(27)。店内にはフランス語訳の約四千もの作品が壁一面にズラリと並び、

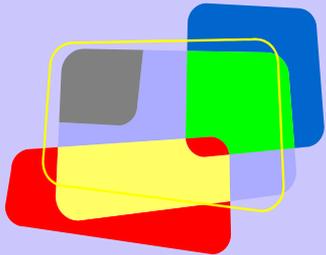
## 予想外のストーリーが魅力 料理や武道なども多方面への注目

の作品はストーリー性やリアルな描写によりこだわっていると感ずる。「僕らにとって漫画の中の日本は見慣れた存在なんだ」と店を訪れたデザイナーのフェッソンさん(27)。日本のサブカルチャーを紹介する「ジャパンエキスポ」もフランスの間に定着。八回目の今年、パリ郊外の展示場では日本の漫画喫茶までお目見えし、アニメやマンガの登場人物に扮（かん）したコスプレ姿の若者ら約七万人でにぎわった。もともとフランス語圏には独自の漫画文化があった。ベルギー人作家エルジェの描く「タンタン」シリーズは一九二九年に初作品が発表されて以来、日本をはじめ世界中で翻訳されている。小学館法務・ライツ局の新藤雅章さんは「以前からの土壌があったのが（日本漫画の普及にとって）本場に大きい」と語る。「名探偵コナン」はこれまで五十巻以上が出版され、フランスでの小学館の版權収入も二〇〇〇年と比べて一・五倍に。フランスで二十年以上暮らす通訳業の古垣内隆（ふるがうち・たかし）さん(53)は「漫画以外にも料理や武道など近年、日本への関心の高さを実感する。日本語を学ぼうとする人も多く、両国の交流がさらに広がればうれしい」と期待する。（パリ共同＝森西隆）

タヒチ(フランス領ポリネシア)は、南太平洋に広がる118の島々からなる常夏の楽園です。画家ポール・ゴーギャンは、1891年に初めてタヒチを訪れ、その手付かずの自然の豊かさと人々のあたたかさの虜になり、人生の最後をマルケサス諸島のヒバオア島で過ごしました。

 第3章

一緒に考えよう！こんな課題

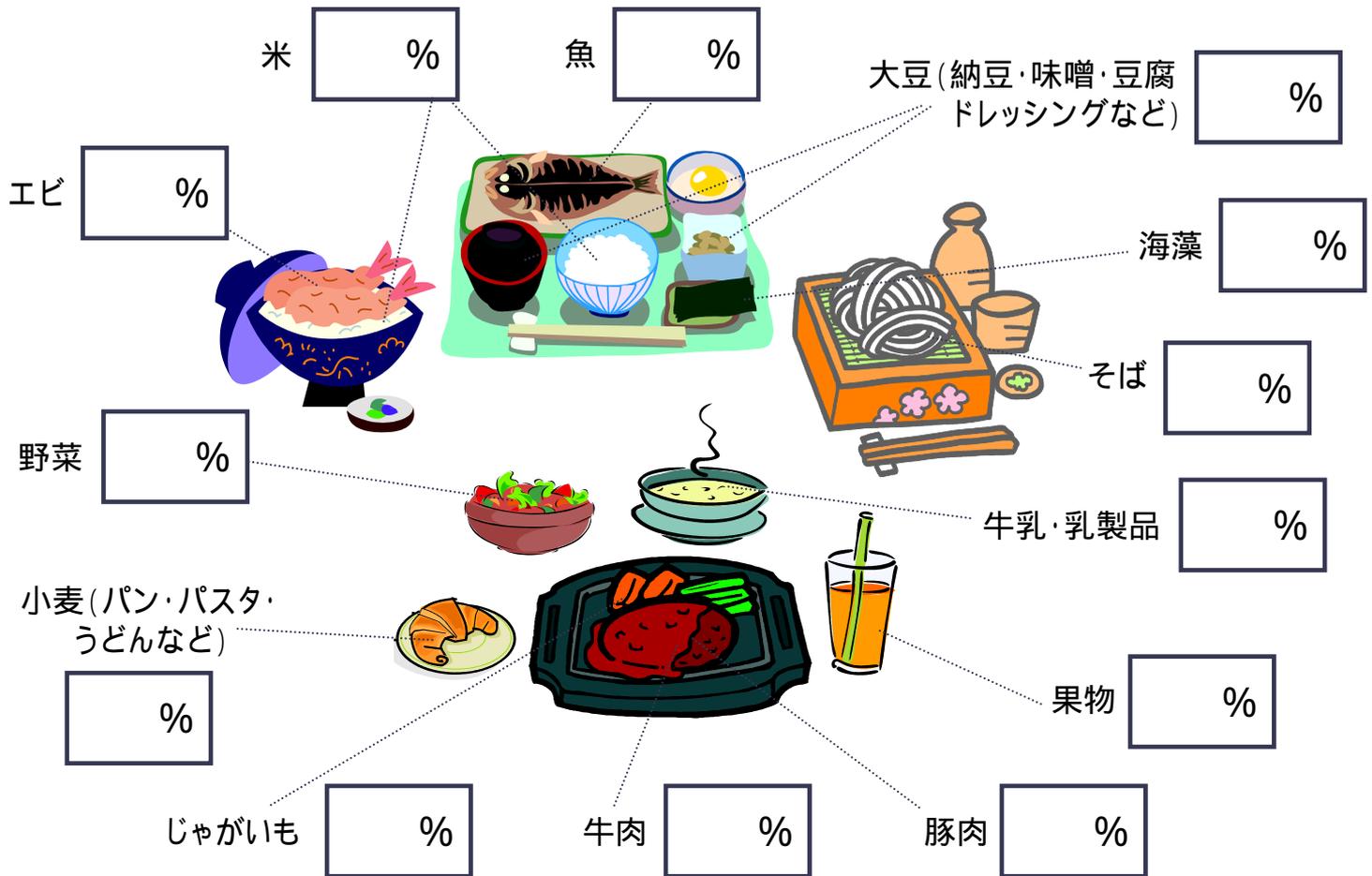


# 食べ物だって無限じゃない！

① みなさんはどんな料理が好きですか？ 下のお料理の材料、それぞれ日本国内で作られているのは何%くらいでしょうか？ 四角の中に数字を入れてみましょう。



## 日本の場合



## フランスの場合

下記の表は、2003年の食料自給率です。フランスの数字を入れ込んでみましょう。(単位%)

|          | 食用穀物<br>(うち小麦) | いも類 | 豆類 | 野菜類 | 果実類 | 肉類 | 卵類 | 牛乳・乳製品 | 魚介類 |
|----------|----------------|-----|----|-----|-----|----|----|--------|-----|
| フランス<br> |                |     |    |     |     |    |    |        |     |
| 日本<br>   | 60             | 14  | 83 | 6   | 82  | 44 | 54 | 96     | 69  |

上記「日本の場合」の食料自給率は2005年度の概算値なので、2003年の数字とは少し異なる

「日本の食料自給率」「フランスの食料自給率」そして「世界の現状」を聞いてどう思いますか？ 感じたこと、気づいたことをみんなで話し合ってみましょう。



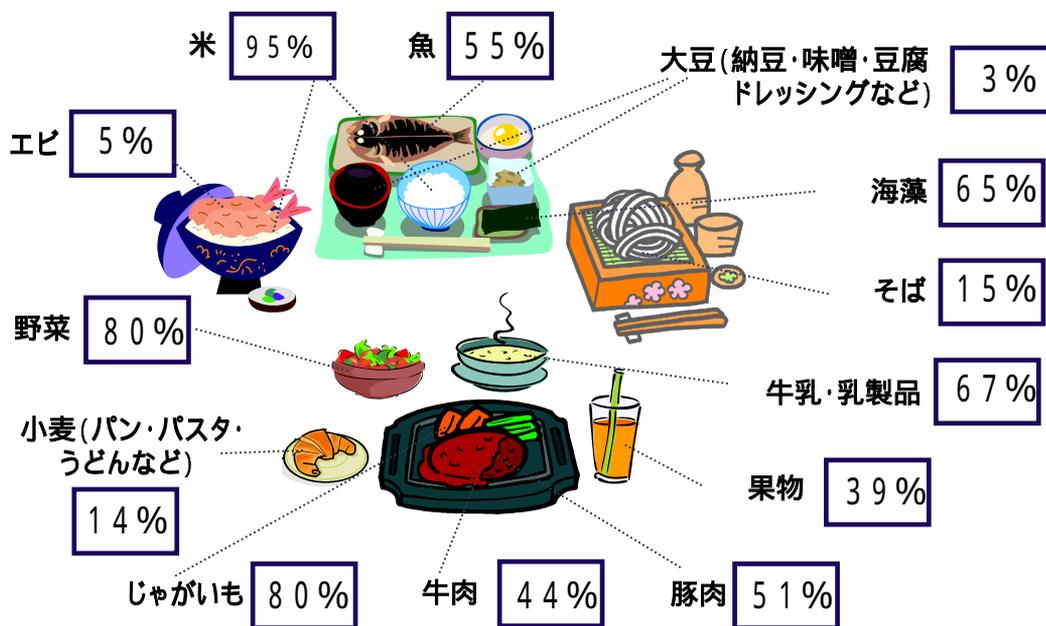
ニューカレドニアは、世界有数のニッケル産出地です。主な輸出先のひとつが日本。日本の50円や100円硬貨にもニッケルが使われているのです。



P.27のこたえと解説です。



毎日食べている食べ物を通して、日本と世界のつながり、世界との交流がなければ、今の生活が成り立たないことに気づこう。



|      | 食用穀物<br>(うち小麦) | いも類 | 豆類  | 野菜類 | 果実類 | 肉類 | 卵類  | 牛乳・乳製品 | 魚介類 |    |
|------|----------------|-----|-----|-----|-----|----|-----|--------|-----|----|
| フランス | 157            | 166 | 104 | 87  | 87  | 71 | 106 | 98     | 125 | 40 |
| 日本   | 60             | 14  | 83  | 6   | 82  | 44 | 54  | 96     | 69  | 50 |

『いちばん身近な「食べもの」の話』農林水産省

## 日本の食料自給率

日本の食料自給率はカロリーベースで40% (2003年) です。つまり、60%は外国からの輸入に頼っているのです。穀物自給率でいうと、28%で世界173の国・地域の中で124番目という低さです。また、日本国内の農地面積は469万ヘクタールですが、日本が輸入している食料を生産するために使われている外国の農地面積は約1200万ヘクタールです。日本人が食べるために、国内の2.5倍の外国の農地が使われているのです。ちなみに、1963年の食料自給率は72%でした。

『いちばん身近な「食べもの」の話』農林水産省

## フランスの食料自給率

フランスの食料自給率は122%です。穀物自給率は173%で、世界173の国・地域の中では5番目です。農地面積は2750万ヘクタールです。ちなみに、1963年の食料自給率は98%でした。

世界で最も穀物自給率が高いのは、オーストラリアの333%。続いて、アルゼンチン249%、ガイアナ228%、ウルグアイ205%、フランス173%、タイ162%、カザフスタン150%、カナダ146%となっています。

『我が国の食料自給率 平成18年度食料自給率レポート』農林水産省

## 世界の現状

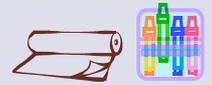
今世界の人口はどんどん増えていて、開発途上国では満足に食べられない人が8億人いるといわれています。世界の農地面積はほとんど増えていません。温暖化や鳥インフルエンザなどの影響で食料が取れなかったり輸入できなかったりする可能性があります。日本の食べ残しは約30%。食品廃棄量約2000万トンのうち、1000万トンは家庭から出ています。

農林水産省ウェブサイト

# 「ゆっくり」を楽しもう！～自転車で自分たちの街再発見～



みなさんはいつもどんな交通手段を使っていますか？ 自分の街をゆっくり眺めたことはありますか？



① みんなは移動するとき、どんな交通手段を使っていますか？ そして、どれが一番好きですか？  
グループで自由に話し合ってみましょう。

② では、下の写真の乗り物、知っていますか？ 2005年愛知万博で会場内を走っていましたね。  
最近では、名古屋市内など、街の中でも走っています。



③ フランスのパリでは、2007年7月に大規模貸し自転車事業「ヴェリブ」が始まりました。  
どんな事業か説明を聞いてみましょう。( P.30)

④ さて、みんなの街でもこのレンタル自転車事業をやることになり、その時に「わたしたちのおススメコース」を紹介することになりました。どんなコースがいいと思いますか？ グループで考えてみましょう。  
まず模造紙に、学校の周りの地図と紹介したいと思う場所や建物などを描きこんでみましょう。それらを踏まえて、おススメコースをつくってみましょう。

⑤ グループで考えた「おススメコース」をみんなで紹介しあいましょう。

⑥ いろいろなお勧めコースを聞いてどんな感想をもちましたか？ これまでに聞いたフランスや日本での取り組み、みんなで考えたわたしたちの街の「おススメコース」などを踏まえて、自転車を使うことによる「いいこと」「悪いこと」は何でしょう？ グループで話し合ってみましょう。



19世紀後半から20世紀初頭にかけて、多くの日本人移民がニューカレドニアを訪れました。1892年から1914年までに5575人の日本人がニッケル鉱山へ出稼ぎに行っていたのです。



P.30の解説です。



日常生活や地域をふりかえり、どんな生活が楽しく、しかも、地球にとっても地域にとっても優しいのか考えよう。

## 愛知万博でも活躍した自転車タクシー

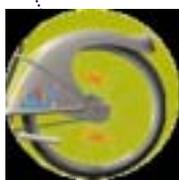
排気ガスを出さない、人にも環境にも優しい自転車タクシー。愛知万博では、国内自転車メーカー3社とドイツ製のペロタクシーとが会場内移動手段として活躍しました。( P.29)

特に、「ペロタクシー」は1997年にドイツのベルリンで誕生し、2002年には日本の京都でも走り始めました。「ペロ(VELO)」はラテン語で自転車を意味し、現在では、名古屋市内を含め16都市で活躍しています。ペロタクシーのボディは100%リサイクル可能なポリエチレン製でおとな2人と子ども1人が乗車できます。スピードは時速約5~10キロメートル。のんびりと街の風景を楽しめるエコなタクシーなのです。



ペロタクシージャパンウェブサイト

## パリで始まった「ヴェリブ」



2007年7月15日、フランスのパリ市で大規模な貸し自転車事業が始まりました。それが「ヴェリブ」です。自転車を意味するフランス語「Velo」と自由を意味するフランス語「Liberté」をあわせて「ヴェリブ」。地球温暖化や環境保護のために始められました。

ICカードを持つか、専用パスを購入すれば、パリ市内に750ヵ所以上あるスタンドで、メタリックグレーの自転車を借りることができます。最初の30分は無料なので、うまく乗り継げば安い料金で長時間借りることができます。年中無休で24時間営業。ただし、体重120kg以上、身長150cm以下の人は借りられません。また、14歳以下は利用できず、14歳~18歳の方は、親の許可が必要です。この事業が始まるまで、自転車利用者の割合は、交通機関全体の中で、1.4%に過ぎなかったのが、このヴェリブによって自転車が大変なブームになっています。1日平均で、5万台~7万台がレンタルされ、年間パスの所有者は、1年で20万人に達するだろうと言われています。

そんな大人気のお陰で、スタンドからスタンドに渡り歩いてもなかなか、借りる自転車が見つからないこともしばしば。また、自転車専用道路の整備や、利用客のマナー教育、盗難対策なども必要です。

いずれにしても、ヴェリブは環境に優しい上、利用者にとっても便利で、さらに市に収入ももたらしてくれるというすばらしい制度。まさに「自転車のフランス革命」なのです。



ヴェリブウェブサイト

# 多様な人種が集まる国フランス

① まずは、クイズです。

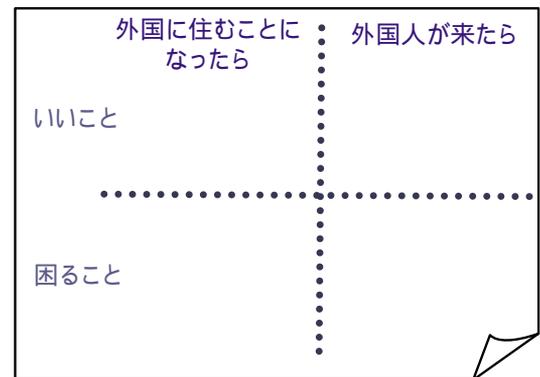


① もしも、日本が100人の村だったら、外国人は何人いると思いますか？  
では、愛知県が100人の村だったら、外国人は何人いると思いますか？  
ではでは、フランスが100人の村だったら、外国人は何人いると思いますか？

② 日本に住んでいる外国人、一番多いのはどこの国の人だと思いますか？  
愛知県は？ ではでは、フランスはどこの地域の人が多いでしょう？  
次の4つの中から選んでください

A. ヨーロッパ B. アフリカ C. アジア D. アメリカ

③ それではみんなで考えてみましょう。  
もしも、突然外国に住まなければいけなくなったとしたら、どんないいことがあると思いますか？  
どんなことが困ると思いますか？  
また、もしも近所にあるいはクラスに突然外国人が来たら、どんないいことがあると思いますか？  
どんなことが困ると思いますか？  
模造紙を図のように4つに区切って、思いつくことをできるだけたくさん書いてみましょう。



④ では、「困ること」をなくすためにどうすればいいと思いますか？  
自分が外国に住むとき、または自分の近くに外国人が住むようになったとき...、いろいろなことを考えてみましょう。

⑤ 最後に、ここにある新聞記事があります。( P.33) これを読んでみなさんはどう思いますか？  
感想を話し合ってみましょう。



フランスの新聞の日刊紙は、全国紙と地方紙をあわせると100種類以上あるのですが、日本と違うのは、1日1回の発行。「ル・フィガロ」は朝発行されるし、「ル・モンド」は午後発行されます。家に配達してもらうよりは、毎朝キオスクなどで買う人が多いそうです。



- ① 日本は1.63人(2006年12月) 人口に直すと 約2,085,000人  
愛知県は2.8人(2006年12月) 人口に直すと 206,674人  
フランスは7.4人(1999年国勢調査) 人口に直すと 4,310,000人

- ② 答えは B  
日本全体では、韓国・朝鮮が全体の28.7%を占めて一番多く、中国、ブラジル、フィリピン、ペルーと続きます。  
愛知県の場合は、ブラジル、韓国・朝鮮、中国、フィリピン、ペルーの順です。  
そしてフランスは、アフリカ、特にマグレブ諸国(下段メモ参照)とよばれる国からの移民が多く、ついでポルトガルなどのヨーロッパ、アジアの順となっています。

## 2005年パリ郊外暴動事件

フランスは歴史的に多くの移民を受け入れてきた国です。特に、フランスの植民地だったアフリカ諸国の独立時期からマグレブ3国(アルジェリア・モロッコ・チュニジア)からの移民が増え、その後、西アフリカやアジアの移民が増えています。こうした移民に対し、人種・民族を問わず、フランスで生まれればフランスの市民権が与えられるなど寛容に受け入れています。しかし、フランスのとり「同化政策」に対する抵抗や、高い失業率などの社会問題とも関連し、2005年秋に暴動が起きてしまいました。

2005年10月27日にフランス・パリの東にある郊外(フランス語でバンリュー)で北アフリカ出身の三人の若者が警察に追われ逃げ込んだ変電所で感電し、死亡したことをきっかけに移民の若者達が起こした暴動がフランス全土の都市郊外に広がりました。これを力づくで押さえ込もうとしたサルコジ内相(当時)の「社会のくず」発言や警官隊の打った催涙弾がモスクに転がり込んだことも火に油を注ぐように暴動を拡大させてしまったのです。

発端となる事件の起きたセーヌ＝サン＝ドニ県クリシー＝ス＝ボワなどバンリューは移民の住む団地が多く、スラム化しています。失業、差別、貧困、将来への展望のなさなどに不満がたまって犯罪が多発しており、強硬な治安対策や不法移民摘発などの対策がとられていました。今回の暴動も、特に差別が多く、失業率の高い北アフリカの移民が多い地域に集中しました。

フランスの若年層(18～24才)の失業率は23.1%。またフランスの移民人口は431万人(1999年国勢調査)。移民の多い地区では、失業率は全国平均よりも高く、40%に達する地区もあるといえます。

## 多文化共生社会の実現に向けて～日本の自治体の取組み～

1990年の入管法改正によって、主に南米からの日系人が多く日本に住むようになりました。近所や学校、職場に外国籍の方がいるのがあたりまえの状況の中でことばの問題、文化・生活習慣の違いからくるトラブル、子どもたちの教育問題など様々な課題が生じています。

そうした状況を踏まえ、2006年(平成18年)には、総務省から各自治体に向けて「地域における多文化共生推進プラン」が出されました。その中で「多文化共生」は、人権尊重に合致するとともに、住民の異文化理解力の向上やユニバーサルデザインのまちづくりを推進することになり、地域の活性化につながり、地域にとって大きな意義があるとされています。そして、地域における多文化共生施策の基本的考え方として次の項目を挙げています。

### コミュニケーション支援

地域における情報の多言語化

多様な言語、多様なメディアによる行政・生活情報の提供 外国人住民の生活相談のための窓口の設置、  
専門家の養成 NPO等との連携による多言語情報の提供 地域の外国人住民の相談員等としての活用

日本語及び日本社会に関する学習支援

地域生活開始時におけるオリエンテーションの実施 日本語および日本社会に関する学習機会の提供

### 生活支援

居住

情報提供による居住支援、入居差別の解消 住宅入居後のオリエンテーションの実施 自治会・町内会  
等を中心とする取組みの推進 外国人住民が集住する団地等における相談窓口の設置

P.33につづく



リビア、チュニジア、アルジェリア、モロッコなど北西アフリカ諸国をマグレブ諸国と呼びます。  
もともと「日が没するところ・西方」を意味するアラビア語から来ており、「日の昇るところ、東方」を意味するマシュリクと対になっています。

教育

学校入学時の就学案内や就学援助制度の多様な言語による情報提供 日本語の学習支援 地域ぐるみの取組み 不就学の子どもへの対応 進路指導および就職支援 多文化共生の視点に立った国際理解教育の推進 外国人学校の法的地位の明確化 幼児教育制度の周知および多文化対応 労働環境

ハローワークとの連携による就業支援 商工会議所等との連携による就業環境の改善 外国人住民の企業支援

医療・保健・福祉

外国語対応可能な病院・薬局に関する情報提供 医療問診票の多様な言語による表記 広域的な医療通訳者派遣システムの構築 健康診断や健康相談の実施 母子保健および保育における対応 高齢者・障害者への対応

防災

災害等への対応 緊急時の外国人住民の所在把握 災害時の通訳ボランティアの育成・支援、連携・協働 大規模災害時に備えた広域応援協定 災害時の外国人への情報伝達手段の多言語化、多様なメディアとの連携

その他

より専門性の高い相談体制の整備と人材育成 留学生支援

多文化共生の地域づくり

地域社会に対する意識啓発

地域住民等に対する多文化共生の啓発 多文化共生の拠点づくり 多文化共生をテーマにした交流イベントの開催

外国人住民の自立と社会参画

キーパーソン・ネットワーク・自助組織等の支援 外国人住民の意見を地域の施策に反映させる仕組みの導入 外国人住民の地域社会への参画 地域社会に貢献する外国人住民の表彰制度

多文化共生の推進体制の整備

多文化共生の推進を所管とする担当部署の設置や 庁内の横断的な連携 地域における各主体の役割分担と連携・協働

 『地域における多文化共生推進プラン』総務省



2007年7月24日 中日新聞 夕刊

## 目立つ外見 いじめも

七年前に両親と妻曰し、公から水の入った風呂をぶつけられ、ラシルとか外国人の子としか立小中学校を卒業後、早立みられそうにもなかった。いまだ 付き合いなかった。 多文化共生の拠点づくり 多文化共生をテーマにした交流イベントの開催

「多文化共生を学ぶ、親友 雄馬さん(三〇)自身、差別といふ死で日本語を学び、親友 雄馬さん(三〇)自身、差別といふ年、カルロスさん(二〇)二年の間に、帰らんと言ふ、カルロス君は日本語とポルトガル語を生かせる先生 逮捕されたことも。子どもたちと同じ過ちをさせたくない。ニューカマーに言葉のサポートは欲しい。ただ、未住が進む中、本当に必要なのは理解されること、頑張れば行きたい学校に行け、就きたい職業にも就ける。そんな希望の見える懐の深い国際的な社会になってほしい」

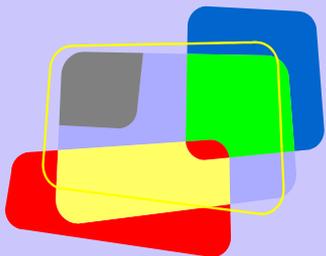
今では「重弁を使いこなす 出したこともある。先生は相に、エベリネさんは両国をつ二人だが、来日時は日本語が 手の言いつしか聞かずに「おなぐジャーナリストになる夢 できず、母方がイタリア、ロ ませが悪い」と涙めつけ、ま を抱いている。

シア系とあつてかなり自立つ た「アライラ」とカルロス君、 エベリネさんたちをほじ 外見、「ガイシンは痛れ」と エベリネさんは「中学時代は、め、県内外の外国人の子たち なられ、靴を隠され、三階 いじめがひどかったから、プ を支援してきた「多文化共生 会になってほしい」

この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

## 第4章

そして未来へ



# もしも外国とのつながりがなくなったら

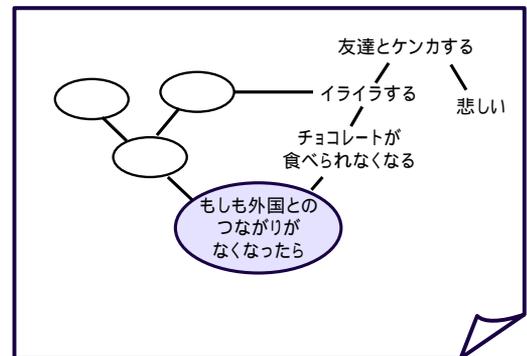


「国際交流」は何のためにするのでしょうか?外国に行くこともないし、周りに外国人もいないから、「そんな関係な~い」って思っている人はいませんか?



- 1 きょうの朝起きてからここに来るまで、使った物、食べたり飲んだりした物、話した人、行った所...何でもいいので、自分が関わった物、人、ことなどをみんなでどんどん出し合って、黒板に書き出してみましよう。
- 2 いくつ書き出せましたか? 書き出したものを見てどう思いましたか? 思ったこと何でもいいので、感想を全員で話し合ってみましよう。
- 3 ではその中で、外国とのつながりがなかったらなくなってしまうものはありませんか? 外国とのつながりがなかったらなくなってしまうものを、×で消してみてください。いくつ残りましたか?

- 4 それでは、①~③で考えたことも頭におきながら、もしも外国との交流がなくなったらわたしたちの生活はどうになってしまうのか、4~6人のグループに分かれて考えてみましよう。

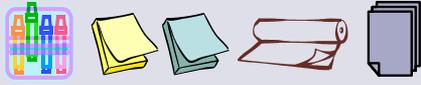


それぞれのグループで模造紙を1枚ずつ用意して、真ん中に「もしも外国とのつながりがなくなったら」と書き込んでください。そこから、どうなるか

思いつくことを書き、さらにそれがどんな風につながっていくのか派生させて考えてみましよう。

例えば、「もしも外国とのつながりがなくなったら チョコレートが食べられなくなる イライラする 友達とケンカする 悲しい」もちろん、悪いことばかりではないかもしれません。「もしも外国とのつながりがなくなったら 英語を勉強しなくてもいい 伝統的な美しい日本語が受け継がれていく」他の人が書いた意見に付け加えたり、つなげたりしながら、自由な発想でどんどん広げていってください。

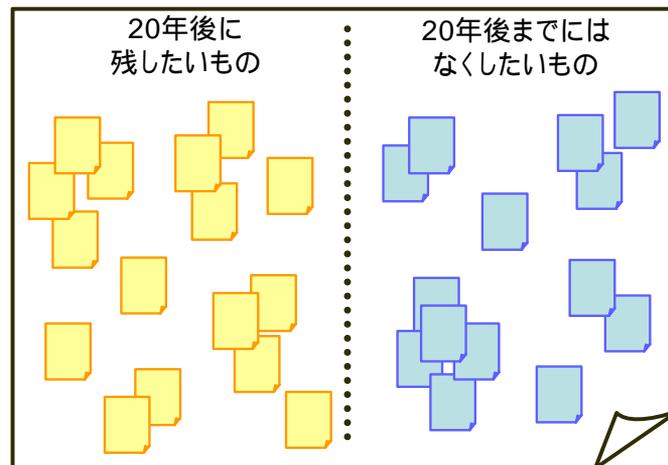
- 5 各グループで考えたことを発表し、みんなで共有しましよう。
- 6 他のグループの発表を聞いてどう思いましたか? 感想を話し合いましよう。
- 7 では最後に、今までやってきたことをふりかえりながら、「何のために国際交流をするのか?」1人ずつ、書いてみましよう。



❓ 未来を創るために自分に何ができるか考えてみましょう。

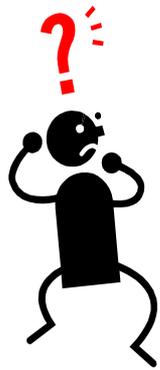
- 1 今地球にある物またはことで、「20年後に残したいもの」、「20年後までにはなくしたいもの」は何ですか？ それぞれ3つずつ考え、付箋紙1枚に1項目ずつ書き出しましょう。  
その時、「残したいもの」と「なくしたいもの」は違う色の付箋紙に書くとわかりやすいでしょう。

- 2 4～6人のグループに分かれましょう。  
各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「残したいもの」、右側には「なくしたいもの」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。  
また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。



- 3 各グループから出た意見を発表し、全員で共有しましょう。
- 4 では、20年後そうした地球を実現するために、今わたしたちにできることは何でしょう？  
自分がやろうと思うことを書き出してみましょう。
- 5 全員で共有しましょう。

# もしも外国とのつながりがなくなったら？



派生図を描いてわかったこと『もしも外国とのつながりがなくなったら...』

- ・良いことも悪いこともある
- ・日本は食糧と石油の部分で大きく影響を受ける
- ・「お楽しみ」が減る(映画、音楽、旅行、スポーツ)
- ・文化的な豊かさが減る
- ・世界の様子が見えなくなり不安になる
- ・資源が減る(輸入大国日本)
- ・世界の良さを知らないと日本の良さも見えなくなる

## 20年後に残したいもの・20年後にはなくしたいもの

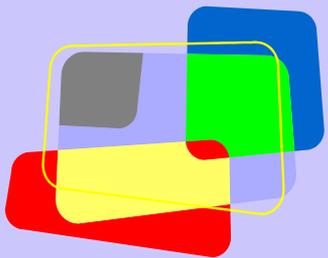
20年後に残したいもの

豊かな食 / 伝統文化 / 交流・共生 / 人とのつながり / 自然環境 / 便利さ / 希望 / やすらぎ  
 問題解決 協力・協働 非暴力  
 安全で豊かな環境 / 暮らしやすい環境 / 娯楽  
 平和 / 笑顔

20年後にはなくしたいもの

環境破壊 / 貧富・格差 / いじめ / 差別 / 犯罪  
 病気 / 武器 / 戦争・紛争 / 核 / つめこみ主義  
 人間よりお金が大事にされる、そんな社会イヤだ  
 安全でない食

# 參考資料



# 目で見るフランス



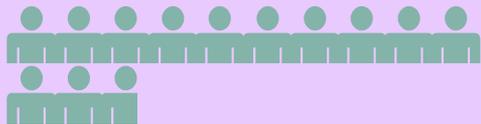
通称トリコロール(Tricolore, 三色の意)と呼ばれる旗。  
 青は自由、白は平等、赤は博愛(友愛)を表わす。赤と青はフランス革命軍が帽子に付けた帽章の色に由来し、白はブルボン朝の象徴である白百合に由来する。「青」は正式には「藍色」である。

## ●人口●

 61.33百万人(2006年)



 128.0百万人(2006年)



## ●面積●

 547,000km<sup>2</sup>  
 (日本の約1.5倍)

 377,887km<sup>2</sup>



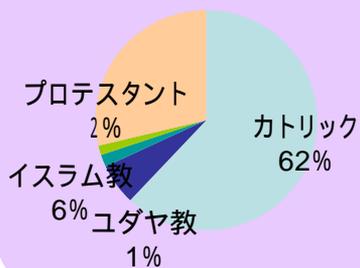
## ●言語●

フランス語

## ●通貨●

€(ユーロ)

## ●宗教●



## ●気候帯●

西岸海洋性気候  
 地中海沿岸:地中海性気候

## ●平均気温●

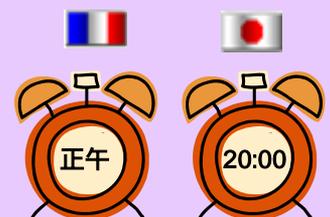
ルブルジェ 名古屋  
 10.9 15.4

## ●年間降水量●

ルブルジェ 名古屋  
 647.5mm 1565mm

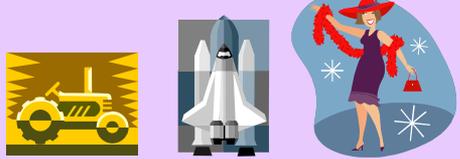
## ●日本との時差●

- 8時間



国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken) 人口・面積・首都・通貨:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 日本の人口:世界子供白書2008(ユニセフ) 日本の面積:総務省統計局「日本の統計」 気候帯・平均気温・年間降水量:外務省ウェブサイト「探検しようみんなの地球」 名古屋の平均気温・年間降水量:気象庁観測部観測課観測統計室「日本気候表」(S46~H12年の平均) 言語・日本との時差:世界の国一覧表(財団法人世界の動き社)

**●主要産業●**  
 科学 機械 食品 繊維等  
 農業は西欧最大の規模  
 工業においては、宇宙・航空産業、原子力産業などの先端産業が発達  
 伝統的産業も栄えている(ファッション等)



**●日本との貿易主要品目●**



アルコール飲料(ワイン等) バッグ類 医薬品等



自動車 映像機器 二輪自動車

**●一人あたりのGNI●**



 36,550米ドル(2006年世銀)

**\$\$\$\$**

 38,410米ドル(2006年世銀)

**\$\$\$\$**

**●在留邦人数●**



30,863人(2006年10月)

**●在日フランス人数●**

約7,800人(2007年11月)

**●日本人旅行者 仏●**

約55,000人(2005年)

**●フランス人旅行者 日●**

約670,000人(2005年)

**●進出企業数●**



(2005年)

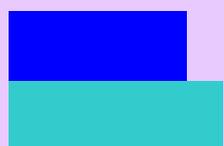
 274社  
(在日仏系企業)

 379社  
(在仏日系企業)

**●出生時の平均余命●**

 80年

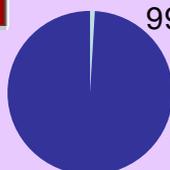
 82年



**●初等教育純就学/出席率●**

(2000~2006年)

 99%




**●人口増加率●**

(1990~2006年)

 0.5%

 0.2%

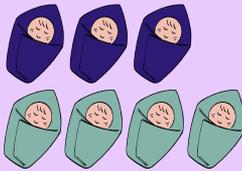


**●5歳未満児の年間死亡数●**

(出生1000人あたり)

 3人(2006年)

 4人(2006年)



**●都市人口の比率●**



 77%(2006年)

 66%(2006年)

**●失業率●**



 9.5%(2005年)

 4.4%(2005年)

**●一人あたりのワイン年間消費量●**

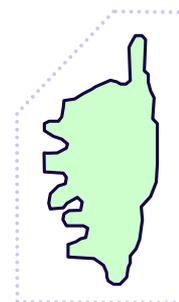
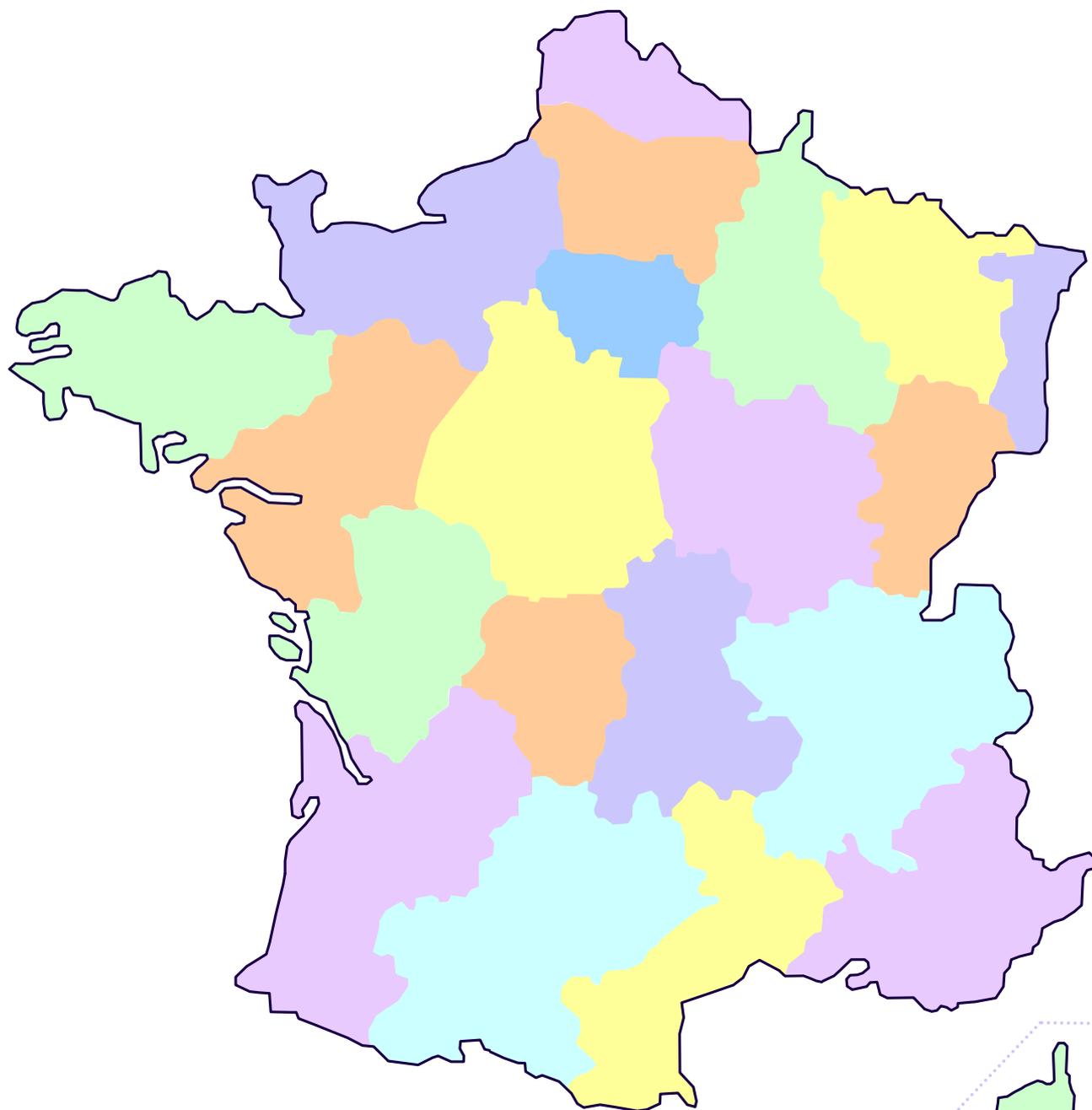
 54.8ℓ

 2.0ℓ



 主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日フランス人数:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 一人あたりのGNI・出生時の平均余命・5歳未満児の死亡者数・人口増加率・都市人口の比率・成人の総識字率・初等教育純就学/出席率:世界子供白書2008(ユニセフ) 旅行者数・進出企業数・失業率:日仏交流150周年パンフレット(外務省) ワイン年間消費量:国際ワイン機関(O.I.V.)ウェブサイト





ヨーロッパ





## 参考文献・データ等の出典

在日フランス大使館

[http://www.ambafrance-jp.org/sommaire.php3?id\\_rubrique=7](http://www.ambafrance-jp.org/sommaire.php3?id_rubrique=7)

フランス政府観光局

<http://jp.franceguide.com/>

外務省「各国地域情勢」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

外務省「探検しよう! みんなの地球」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>

総務省統計局「日本の統計」

<http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>

文部科学省

<http://www.mext.go.jp/>

『地域における多文化共生推進プラン』総務省

[http://www.soumu.go.jp/kokusai/pdf/tabunka\\_a\\_4.pdf](http://www.soumu.go.jp/kokusai/pdf/tabunka_a_4.pdf)

独立行政法人国際協力機構中部国際センター

<http://www.jica.go.jp/chubu/index.html>

財団法人日本ユニセフ協会

<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>

パリ発ヨーロッパのマンガ情報

[http://www.eurojapancomic.com/pro/report\\_14/report\\_14.shtml](http://www.eurojapancomic.com/pro/report_14/report_14.shtml)

ベロタクシー・ジャパン

<http://www.velotaxi-nagoya.jp/>

ヴェリブ

<http://www.velib.paris.fr/>

「いちばん身近な食べもの話」農林水産省

「欧州におけるコンテンツ市場の実態」日本貿易振興機構(ジェトロ)

『新たな友好関係へ 日仏交流150周年』パンフレット外務省

## ご協力いただいた方【敬称略】

丸岡高弘(南山大学フランス学科教授)



## 執筆

財団法人 愛知県国際交流協会

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター



## 教材作成チームメンバー



津島市・愛西市・北名古屋市・弥富市・扶桑町・大治町

世界の国を知る  世界の国から学ぶ

## わたしたちの地球と未来

 フランス共和国 

2008年3月

**発行** 愛知県

**企画  
編集** 財団法人 愛知県国際交流協会  
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号  
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-8746 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

**印刷** 株式会社 丸和印刷



